

付託議案

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會會議錄（速記）第十三回

昭利十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）
昭和七年法律第一號中改正法律案（滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル臨時利得稅法案（政府提出）
日本銀行納付金法中改正法律案（政府提出）
國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案（政府提出）
造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案（政府提出）
東京高等農林學校及函館高等水產學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案（政府提出）
日本銀行金買入法中改正法律案（政府提出）
朝鮮銀行法中改正法律案（政府提出）
臺灣銀行法中改正法律案（政府提出）

第六十七回帝國議會衆議院

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會會議錄（速記）第十三回

會議

昭和十年二月二十日（水曜日）午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡田 忠彦君

理事松村 光三君 理事上田 孝吉君

理事岡田喜久治君 理事中村 繼男君

田邊 七六君 廣瀬 爲久君

山田 又司君 小笠原三九郎君

大口 喜六君 太田 正孝君

大山斐瑳磨君 森田 福市君

綾部健太郎君 金光 庸夫君

田中 貢君 松田 正一君

小川郷太郎君 中島彌團次君

栗原彦三郎君 龜井貫一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 高橋 是清君

外務大臣 廣田 弘毅君

商工大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 吉田 茂君

外務參與官 松本 忠雄君

外務書記官 岡本 季正君

大藏政務次官男爵 矢吹 省三君

大藏參與官 豐田 收君

大藏省主計局長 賀屋 興宣君

大藏省主稅局長 石渡莊太郎君

大藏省理財局長 青木 一男君

大藏省銀行局長 荒井誠一郎君

大藏書記官 入間野武雄君

大藏書記官 大矢半次郎君

商工政務次官 勝 正憲君

商工參與官 高橋 守平君

商工省工務局長 竹内 可吉君

商工省貿易局長 寺尾 進君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル

爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 昭

和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事

件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關ス

ル件)(政府提出)

臨時利得稅法案(政府提出)

日本銀行納付金法中改正法律案(政府提

出)

國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル

法律案(政府提出)

造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル

建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法

律案(政府提出)

日本銀行金買入法中改正法律案(政府提

出)

朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出)

臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)

○岡田委員長 是ヨリ開會致シマス——龜

井君

○龜井委員 臨時利得稅ニ付テ御尋致シタ

イト思フノデアリマスガ、臨時利得稅ノ法

案其モノニ付テハ既ニ中島君、森田君、松

村君等カラ十分論議ガ盡サレテ、一通リ概

略ノ外貌ハ明ニナッテ來テ居ルト思フノデ

アリマス、是ハ大藏大臣ニ伺ヒタカッタノデ

アリマスガ、大藏大臣モウ直グニ見エマスカ

○岡田委員長 見エマス

○龜井委員 御話ノ筋ハ少シ違ヒマスガ、

商工大臣ガ居ラッシャイマスカラ、先ニ少シ

商工大臣ニ伺ッテ置キタイコトガアルノデ

アリマス、臨時利得稅ハ御承知ノ通り時局

ノ影響ニ依ッテ、一部産業ニ増益ガアルト

云フ認識、前提カラ出發致シテ居リマス、

其一部産業ニ増益ガアルト云フ原因ハ、無

論時局ノ影響ト云フ言葉デ表現サレテ居リ

マスガ、固ヨリ景氣政策トシテノ軍需「イ

ンフレ」及爲替「インフレ」ニ依ル輸出貿易

ノ促進等ガ原因ニナッテ居ルト思フノデア

リマス、二點取敢ズ伺ッテ置キタイノハ、ソ

レヲ寧ロ或ル意味ノ勞働統制ニ依リマシテ

一般化スル方法ガアルト思フノデアリマ

ス、ソコデ一部産業ノ増益ヲ上カラ臨時利

得稅デ取ルト云フ原則ニハ賛成デアリマス

ガ、ソレヲ一般化スルト云フコトノ御趣意

ニハ御賛成デアラウト思ヒマスガ、其點ハ

如何デアリマスカ、モウ少シ説明ヲ致シマ

スレバ、一般化ト云フノハ一部産業ノ増益

ヲ大衆ノ購買力ニモウ少シ廣ク轉化サセル

方法ガアルト思ヒマスガ、轉化サセルト云

フ趣旨ニ付テハ御同感デアラウト思ヒマ

スガ、如何デアリマスカ

○町田國務大臣 一寸私ハ御質問ノ趣意ヲ

或ハ十分諒解セヌノデアルカ知レマセヌ

ガ、之ヲ勞働化スルト云フ——一般ノ購買

力ヲ増ス方ノ政策ニ持ッテ行クコトハ御同

感デアリマス

○龜井委員 只今商工大臣カラ御答辯ヲ戴

キマシタコトヲ愉快トスル者デアリマス

ガ、實際ニ於キマシテ、今日ノ景氣政策ガ

ドウ云フ結果ニ現レテ居ルカト申シマス

ト、無論政府デ臨時利得稅ヲ御考ニナル位

デアリマスルカラ、非常ニ財界ノ好轉シテ

居ルコトハ、中島君モ本會議デ質問シタ通

リデアリマシテ、業態ト致シマシテハ、固

ヨリ御手許ニ統計ガアルト思ヒマスルカ

ラ、一々舉ゲル必要ハ見ナイヤウデゴザイ

マスガ、昭和九年上半年期ノ重要産業六十

九社ノ業種別利益率ヲ見マシテモ、食料品ガ

二割三分八厘、綿絲紡績ガ三割三分六厘、

雜纖維工業ガ三割六分、窯業ガ二割六分四

厘、化學工業ガ一割七分五厘、造船工業ガ

一割二分九厘、鑛業精鍊ガ二割六分二厘、

石油石炭ガ一割二分三厘ト云フ配當率ヲ示

シテ居リマス、斯ルコトガ臨時利得稅徵收

ノ御趣意ト相成ッタルコト、思ヒマスガ、之

ニ比シマシテ、商工省ノ——何ト申シマス

カ、工場統計速報デアッタト思ヒマス、或ハ

日銀ノ指數ヲ見マシテモ、勞働者ノ定額賃

銀ハ昭和六年ノ平均ガ大正十五年ノ一〇〇

ニ對シマシテ九一・三デアリマスガ、ソレ以

來却ッテ逆ニ下ッテ居リマス、七年デ八八・

七、八年ノ平均ガ八五・一、九年ハマダ平均

ガ取レテ居リマセヌガ、一月、八月ノ平均

デ八三・一ト減ッテ居リマス、是ハ固ヨリ定

額デアリマシテ、此統計ノミヲ以テ議論ヲ

スルコトハ稍、粗案ニナル嫌ヒノアルコ

トハ分ッテ居リマスガ、ソレヲ内部カラ拜

見致シマシテモ、男工ハヤハリ昭和六年平

均ノ九一・八ガ七年、八年ト八八・八、八六・

二ト下ッテ、九年ノ一月、八月ノ平均ハ八四・

二ニナッテ居リマス、女工ハ六年ノ平均ガ八

七・九ガ九年ノ一月、八月ハ七八・一ト下ッテ

居リマス、是ハ定額ノ問題デゴザイマス、

ソコデ今日ノ所謂景氣ノ好イ工業ノ内部ニ

於キマシテ、此定額賃銀ガ下ッテ居リマス

ト云フ事實ハ、是ハ固ヨリ商工大臣御承認デ

アリマセウガ、是ハ一般ノ労働者ノ賃銀ガ引下グラレタノデハゴザイマセヌ、固ヨリ熟練工ハ高イ賃銀ヲ取ッテ居リマス、熟練工ハ或ハ増給ニナッテ居ル所モゴザイマスガ、大體ニ於テ只今臨時利得税ノ課税ヲ受ケントスル會社ノ労働賃銀ハ、一方ニ於キマシテ熟練工ニハ高イ賃銀ヲ拂ッテ居リマスルガ、此古イ職工ヲ成ベク淘汰致シマシテ、サウシテ新シイ日給ノ安イ、是ハ後デ更ニ内務大臣ニ御尋ヲ致シマスガ、工場法ニ拘束ヲサレナイ、何時デモ首ノ鹹ラレル、或ハ退職手當、勤続手當ノ必要モナイ、健康保險ニ入レル必要モナイヤウナ労働者ヲ吸收シツ、アル結果ガ、一方ニ固ヨリ高イ熟練工モアリマスガ、全體トシテハ定額賃銀ノ低下トナッテ居ルモノト私ハ觀察ヲ致シマスガ、商工大臣ノ御考ハ如何デアリマセウカ

○町田國務大臣 商工省ノ發表シテ居リマスル報告ノ中ニ賃銀ノコトモアリマス、ソレハ比較的上ッテ居リマセヌコトハ御話ノ通りデアリマス、唯私偶然此處ニ本ヲ持ッテ居リマスガ、龜井君ハ有名ナル讀書家デゴザイマスカラ、既ニ御覽ニナッたらウト思ヒマスガ、先頃國際労働局ヨリ派遣セラレテ居ッタ同局ノ次長ノ「モーレット」氏ノ報

告ヲ偶然私ハ今朝讀ンデ居ッテ、圖ラズモ其問題ニ逢著シテ居ッタノデアリマスガ、此「モーレット」ガ二、三週間ニ方々ヲ觀察シタ感想ト申シマスカ、意見ニ依リマス、併ヤハリ普通ノ労働賃銀ハサウ高クナイ、併ナガラ實賃銀ト申シマスカ、宿舍ノ設備トカ、食料トカ、賞與、其他福祉増進ト云フコトヲ工場アタリデ言ウテ居リマスガ、其方ノ設備ノ完全シタ所カラ見マス、日本ノ工場労働賃銀ハサウ安クモナイ、歐米ト較ベテモ、日本ノ生活様式ヲ標準トシテ考ヘレバサウ安クナイ、隨テ日本ノ品物ノ海外ニ出ルノハ「ダンピング」デナイト云フ結論ニ達シテ居ルヤウデアリマス、ソコデ先刻一番初メノ御話ノ、モット労働者全體ノ購買力ヲ増ス方ノ考ガドウカト云フ御話ノ中ニ、會社ガ相當利益ヲ得テ居ルニ拘ラズ、工場賃銀、労働賃銀ハ上ッテ居ラヌデヤナイカト云フ風ナ御考ガ入ッテ居ルコト、察シマス、大藏大臣ガ幸ヒ御出デ、アリマスカラ、是ハ大藏大臣ノ方カラ御答ニナル問題カモ知レマセヌガ、私ノ率直ニ考ヘマスル所ハ、臨時利得税ヲ課スルノハ、主ニ工業會社ガ多ウゴザイマセウガ、是ハ純益ノ或ル一部ニ課スルト云フ意味デアッテ、労働者ノ賃銀ガ、此税ノ爲ニ當

然上ルベキモノガ上ラヌト云フ意味ニハ私ハ解シテ居リマセヌ、寧ロ労働者ノ賃銀ガ上レバ生産費ガ上ッタト云フ意味ノ方ニ入ッテ、其餘リト見ルベキ純益ニ課スルノデアリマスカラ、此臨時ノ課税アルガ爲ニ労働者ノ賃銀ヲ抑ヘルトカ、若クハ労働者ノ購買力ヲ減ズルト云フ意味ハ大體ニ於テナイヤウニ考ヘマス、ソレカラ是ハ私ノ平生ノ考方デアリマスルガ、龜井君ガ始終御研究ニナッテ居ル通り、日本ノ工業労働ノ賃銀ハ私ノマダ研究ガ足ラヌノデアルカ存ジマセヌガ、大體歐米ニ於ケル工業労働ノ労働者ノ賃銀ヲ支配スル以外ニ、日本ノ賃銀ヲ支配シテ居ルノハ、農業労働ト工業労働トノ區別ガ立ッテ居ラヌコトガ一ツノ原因デアリハシナイカ、工業労働者ノ賃銀ヲ龜井君ノ御希望ノ通り、モウソツト是ガ上ッテモ宜イデヤナイカト云フ考方ハ私モ御同感デアリマス、ソレニハ一面農業労働者ヲバ如何ニ整理スルト申シマスカ、此農業労働ノ問題ヲ解決スルト同時ニ、初メテ工業労働ノ賃銀問題ガ正當ニ解決セラル、モノデアルマイカ、斯レニ考ヘテ居リマス、私ノ平生考ヘテ居ル考方ノ一端ヲ併セテ御參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○龜井委員 只今ノ商工大臣ノ御説ノ中ノ

一ツトシテ、臨時利得税ガ課ル結果、其課ル工場ノ労働者ノ賃銀増加ノ餘地ヲナクナシハシナイカト云フコトハ私モ考ヘテ居リマセヌ、又本會議ニ於テ商工大臣ガ保證ヲシテ下サイマシタカラ、尙ホ安心ハ致シテ居リマス、其點ハ宜シイ、ソレカラ日本ノ賃銀ノ世界全體ノ産業ニ於キマスル地位ニ付キマシテハ、是ハヤハリ「モーレット」氏ノ報告ヲ私モ大體ニ於テ承認スル者デアリマス、ソレカラモウ一ツサウ云フ御考ガアリハシナイカト思ッテ申上ゲマスガ、日本ノ工業労働ニ一種ノ賃銀上ノ特質ノアルコトハ私モ認メテ居リマス、第一ノ特質ハ歐米流ノ非常ニ複雑ナ賃銀支拂方法、是ガ不適當デハナイカ、是ハ日本ノ生活關係カラデ、第二ハ仰シナル通り農業労働ト工業労働ノ關係ニ於テ特質ノアルコト、是ハ私モ十分諒承致シテ居リマス、現ニ本日モ其問題ニ觸レヨウト思フノデアリマスガ、大體農村救済、農村救済ト申シマスガ、東北六縣ノ小作人労働ハ、御承知ノ通り日露漁業等ノ遠洋漁業賃銀等ガ東北六縣ニ持込マレテ居リマス、或ハ新潟、信州、富山縣ノ冬期季節労働ガ東京府下ノ染色、捺染、或ハ鍍金、窯業、硝子等ノ雜工デアルト云フ事實モ認メテ居リマス、ソレ故ニコソ農業

關係ト、工業關係ガ非常ニ重大ナノデゴザイマス、先程御伺致シマシテ意味ハ、定額賃銀ハ此「モーレット」ノ報告ト別ニ致シマシテ段々下ッテ居リマス、殊ニ昭和七年以後、即チ臨時利得税ノ賦課ヲ認メヨウトスル年度ニ掛リマシテカラ、必要トスルヤウナ考方ノ状態ニ入リマシテ以後下ッテ居ルノデアリマス、ソコデ其下ル原因ヲ、定額賃銀ガ下ッタカラ、労働者ガ食ヘナクナッタノダト云フヤウナ、單純ナコトヲ申上ゲテ言フノデハナクテ、其中ノ工業ノ状態、高率賃銀ノ者モアリマスガ、ソレハ存外比較的小數デ、所謂臨時工及特ニ人夫名義ノ雜役工ノ名前ニ於テ、非常ナ低賃銀デ、而モ就職不安デ備ハレテ居ル労働者ガ、本税賦課ノ對象トナッテ居リマスル、所謂景氣ノ好イ工業ニ澤山入ッテ居ルト私ハ思ヒマスガ、商工大臣ハ此點ヲ如何御觀察デゴザイマセウカ

○町田國務大臣 甚ダ汗顔ノ至リデアリマスガ、今ノ御質問ニ對シテ私ハキリ御答辯スルダケノ材料ヲ只今持ッテ居リマセヌ、併シ一般ノ労働賃銀ノ統計ニ依ッテ上ラヌ、ノミナラズ幾分力下ッテ居ルト云フ此統計ハ、日本全國ヲ通ジタ——或ハ工場労働者ダケデモ二、三百萬人アリマセウ、其全體

ヲ平均シタコトガ現レテ居ッテ、一部工業ハ盛ニナッタガ、全體ノ工業ガ非常ナル恢復ヲ致シテ居ルト云フコトハ、私共マダ見マセヌノデアリマスカラ、其全體ヲ通ジタ労働賃銀ノ平均カラ申セバ、左様ナ統計ガ出ルカモ知レマセヌ、併シ實際論トシテハ軍需工業、其他所謂俗ニ言フ「インフレ」景氣ノ影響ヲ受ケテ、盛ニナッテ居リマスル工業ニ於キマシテハ、單ニ歐米ノヤウナ按排ニ直チニ労働者ノ賃銀ヲ上ゲルトマデ參ラヌ事情ハ、農業労働トノ關係モアリマスカラ、サウ歐米ノ如ク直チニ賃銀ハ上ルト參ラヌマデモ、非常ナル利益ヲ其會社ガ得テ居ルト云フ點カラ今日直チニデナクテモ、早晚其賃銀ハ斯様ナ會社ニ於テハ上ルガ當然ダ、又其傾向ニ進ミツ、アルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス

○龜井委員 商工大臣ノ今ノ御見解ハ、殊ニ末尾ノ將來ニ於テ上ルベキモノト云フ點ニ於テ篤ト諒承致シテ置キマスガ、商工大臣ノ仰シヤイマスヤウニ、此ハ此間ノ本委員會デ、松村君ガ實收賃銀ハモ減ッテ居ルト云フ風ニ一寸仰シヤッタカト思ヒマスガ、實收賃銀ニ付キマシテハ、只今得テ居リマス統計ニ依リマスレバ、却テ是ハ殖エテ居リマス、此統計ハ矢張正直ニ認メテ行カナ

ケレバナラヌノデアリマスガ、實收賃銀ノ殖エルノハ、御承知ノ通り、昭和六年ノ平均ガ大正十五年ノ一〇〇ニ對シテ九〇・七デアリマスガ、途中稍下ッタリ上ッタリノ波ハゴザイマスガ、昨年ノ一月、八月ノ平均ハ矢張九〇・七ノ所ニ維持サレテ居リマス、是ハ實收賃銀ハ高クナッテ居ル所ガ男工ト女工ニ分ケテ考ヘマスト、男工ハ昭和六年ニ九〇・〇デアルニ對シマシテ、九年ハ一月、八月ノ平均デアリマスガ、九五・八ニナッテ居リマス、女工ハドウデアアルカト云フト、六年ノ平均ガ七七・四デアルニ對シテ、六七・一ニ減ッテ居リマス、サウスルト男工ト女工ガ缺ニナッテ行ッテ居ルノデアリマス——今ノ統計ハ私ハ全般ノ統計デ、揚足取リデハアリマセヌカラ、論議ヲ避ケマスガ、松村君ガ過般出シテ居ラレマスノハ、内閣カラ出シテ居ラレマスル特殊産業十數目ヲ舉ゲテノ統計デアリマス、此喰違ガ又面白イコトニナルノデアリマスガ、是ハ後日ノ議論ト致シマス、全般的ト致シマスレバ、實收賃銀ハ男工ニ於テハ増加シ、女工ニ於テハ減ッテ居ル、サウスルト日本ノ女工ガ何デアアルカト申シマスレバ、大部分ハ是ハ紡績産業、人絹産業ニ入ッテ居リマス、此紡績産業、人絹産業ナルモノガ何デアアルカト

言ヘバ、所謂今日増益ヲ見テ、此臨時利得税ノ客體ニナッテ居リマス、ソコデ一方ガ何故減ッテ、片方ガ何故上ッテ居ルカト申シマスレバ、紡績産業ニ付キマシテハ、商工大臣御承知ノ通り、昨年上半期ノ配當ガ、東洋紡二割八分、鐘紡二割五分、岸和田紡一割五分、倉敷紡一割二分、大日本紡一割、斯ウナッテ居ルノデアリマス、ソコデ女工ノ初任給ハ二十五錢カラ三十錢、是ハ夜業ヲヤラナイノデス、商工大臣ハ先刻仰シヤルヤウニ、寄宿舎ガアリマシテ、サウ云フ方面ノ待遇等ヲ考ヘテ居リマスカラ、夜業ヲヤッテ居リマセヌ、サウスルト男工ノ方ガ何故上ッテ居ルカト申シマスルト、此實收額ノ増加ト云フモノハ、労働ノ強化デアリマス、詰リ景氣ノ好クナルニ付ケマシテ、殆ド甚シキニ至リマシテハ、神奈川縣デ工場法違反デ摘發セラレマシタル工場ノ如キハ、殆ド四時間ノ睡眠シカ與ヘナイデ、ブツ續ケニ働カシテ居ル工場モアルノデアリマスガ、全體トシテ今日ノ日本産業ノ隆盛ガ労働ノ強化ニ懸ッテ居ル、是ハ賃銀ガ上ルコトハ或ル労働者ハ喜ビマス、長ク働クコトヲ喜ビマスガ、併シ國策ノ見地カラ申シマス、是デハ優秀労働ト云フモノガ維持出來ナイ、ノミナラズ労働者ノ智能ノ啓發、人格ノ向上ト

云フ時間ガ全然ナイノデアリマス、左様ナ
コトニナリマス、之ニ對シテ私ハ何モ行
ハレナイ夢ヲ説ク必要ハナイト思ヒマス
ガ、一方ニ於テ臨時利得稅ト云フモノガ御
配慮ニ相成ッテ居ルト致シマスルナラバ、他
方ニ於テ是等ノ景氣ノ好イ産業ニ付キマシ
テ勞働強化ヲ、例ヘバ勞働時間制ヲ一定產
業ニ付テ設ケマシテ、サウシテ更ニ失業者
ヲ吸收シ、一方ニ於テ購買力ヲ増スト云フ
政策ガ行ハレルト云フ餘地ガアルノデハナ
イカト思ヒマス、此點ニ付キマシテ商工大
臣ノ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○町田國務大臣 ドウモ甚ダ専門的ト申シ
マス、私ガマダ研究ガ足ラヌノハ重ネ重
ネ恐縮デアリマス、唯今御話ノ盛ナ工業ニ
於テモ男工ノ賃銀ノ相當増シテ居ルニ拘ラ
ズ、女工ノ方ガ多少低イト云フコトノ例ト
シテ、人絹竝ニ紡績ノ例ヲ御引キニナッ
デアリマス、實ハ私ソコマデ研究ハマダ積
ンデ居リマセヌカラ、今研究ヲシテ居ル筈
ノ工務局長ガ役所ニ居ルサウデアリマスカ
ラ、呼ビマス、唯甚ダ輕率ナ申出カモ知レ
マセヌガ、私ノ今御話ニ依リ感シマシタコ
トハ、或ハ農村ノ不景氣ノ爲ニ、生活ノ困
難カラ、東北、北陸等ノ地方カラ能ク女工
ガ出マスガ、寧ロ農村ノ生活ノ困難ノ爲ニ、

工場勞働ノ希望ガ殖エタガ爲ニ、女工ノ
賃銀ガ男工ニ比シテ上ラヌノデヤナイカト
云フ感シモアリマス、同時ニ女工ヲ一番多
ク使ヒマスノハ、紡績ニ非ズ、人絹ニ非ズ、
生絲工場ガ女工ヲ最も多ク使フノハ御承知
ノ通りデアリマス、此生絲ノ昨年ハ非常ナ
ル打撃ヲ蒙ッタ爲ニ、自ラ其方面ノ女工ノ賃
銀ガ下ッテ上ラナイ爲ニ、勞働賃銀平均ニ於
テ、女工ノ賃銀ノ平均ニ於テ、著シク男工
ト異ッタ結果ヲ現シタノデヤナイカト、今御
質問ニ依ッテ左様ナ考ガ突然出マシタノデ
アリマス、正確ナ數デハアリマセヌガ、私
ノ只今ノ御質問ニ對シテ即席ニ感シマシタ
原因ハ、左様ナコトモ考ヘテ居リマスガ、
詳シキコトハ工務局長ガ見エテカラ、數字
ニ依ッテ御説明申上ゲマス

○岡田委員長 工務局長ガ見エマシタ

○龜井委員 ソレデハ直グ工務局長ニ伺ッ

テモ宜イノデアリマスガ、直ニ突然箇條ヲ
伺フヨリ、數字ヲ得テカラノ方ガ宜イト思
ヒマスカラ、暫ク工務局長ニ御待チヲ願ヒ
マシテ、大藏大臣ニ本稅ノ立前ニ付テ、モ
ウ一度御尋ヲシテ置キタイト考ヘマスガ、
臨時利得稅創設、其他臨時利得稅ノ立法ノ
箇條ニ關シマシテハ、既ニ論議ハ相當盡サ
レテ居ルト思ヒマス、ソレデ過般來ノ大臣

ノ御答辯ハ別ニ是デ國ノ收入ヲ増スト云フ
コトガ目的デモナケレバ、所謂具體的ナ負
擔均衡、或ハ社會的正義ト云フ意味デモナ
クシテ、一ツノ政治的達觀カラ、一部産業
ニ儲カッテ居ルモノガアルノダカラ、政治的
達觀カラ之ニ課稅ヲスルノデ、隨テ時局ノ
増益ヲ課稅ノ客體ニ求メタノデアッテ、一般
稅制整理ハ何レ内閣審議會デモ出來タラ其
處デヤル積リデアル、内閣審議會ニ於テハ
所得稅ヲ本位トシ、財産稅ヲ補完稅トシテ
ヤルカ、或ハ高額勤勞所得マデモ財産稅ト
見ル、財産稅單一主義デ行クナリ、或ハ所得
財産並行デ行クナリ、ソレハ衆智ヲ集メテ
ヤルノデ、今日別ニ纏ッタ案ハ——考ハ今
持ッテ居ラヌノデアアルガ、要スルニ根本的稅
制整理ハ内閣審議會、臨時利得稅ハ其間ノ
政治的考慮カラ、政治的達觀カラ此案ヲ提
出シタノデアルト、御答辯ニ相成ッタヤウニ
心得テ居リマスルガ、左様ニ心得テ宜シウ
ゴザイマス

○高橋國務大臣 大體ソレデ宜シウゴザイ
マス

○龜井委員 サウ致シマスルト、同僚中島
君カラ、或ハ私カラモ申述ベタイト思ヒマ
スル稅制整理一般問題ハ、結局内閣審議會
ノ追加豫算ノ時ニ讓ラナケレバナラナクナ

リマス、同時ニ現内閣ノ執ッテ居ラレマスル
公債政策ニ關シマシテ、幾多ノ論議ガ行ハ
レテ居ルコトハ、大臣御承知ノ通りデゴザ
イマスガ、其一ツハ今日ノ此公債政策ハ、
既ニ危險點ニ達シテ居ルノデアアルカラ、所
謂公債漸減ニ早ク戻ラナケレバイケナイト
云フコトヲ急グ類ノ議論ガ一ツト、モウ一
ツハ更ニ此景氣政策ハ、公債増發ノモット積
極的ナル繼續ニ依ラナケレバ、今ノ景氣政
策ガ挫折ヲスルト云フ議論ト、モウ一ツ
ハ、マア吾々一部同僚ノ考ヘテ居ルモノデ
ゴザイマスガ、今日ノ如キ公債政策ニ相成
リマスルト、公債ヲ中心トスル政府財政ノ
國民經濟ニ於キマスル地位ガ、從來ノ地位
ヨリモ一歩進ンダモノデアアル、詰リ國民ノ
貸付資本ト云フモノヲ公債ニ吸集シテシマ
フノデアアルカラ、將來ハ寧ロ相當多額ノ公
債ヲ發行シ、政府ハ其公債ヲ資本トシテ、
獨逸或ハ英吉利等デヤッテ居リマスヤウナ、
全部ヲ官業ニスルト云フノデナクトモ、日
本製鐵ノ如キ會社ノ仕事ニ持分ヲ持ッテ行
クヤウナ財政政策ニ、發展シタ方ガ宜イノ
デハナイカト云フ説ト、ソレカラ又今大藏
大臣ガ御執リニナッテイラシヤイマスヤウ
ナ、大體今ノ公債政策デ、將來ノコトモ
ハッキリ、世ノ中ノ事ハドウナルカモ分ラヌ

ノダカラ、大體ニ於テ民間ニ、公債ニ投資スルヨリモ有利ナ投資ト云フモノガ起キテ來ルマデ、サウナレバ又はハ差支ナイ、一方ニ於テ貿易關係ニ於テ所謂輸入超過ガ續イデ、隨テ通貨ノ信用ヲナクシテ、所謂「インフレーション」ノ危機ガ來ルト云フ、其限度ヲ守「テヤッテ行ケバ、先ヅ此財政政策ノ飛行機デ、宙返リモセズ、著陸モセズニ、先ヅヤッテ行ケルト云フ議論ノ四ツト、大略今日ノ財政政策ニ關スル論議ヲ私ハ解釋スルノデアリマス、ソコデ將來ノ公債政策、是ハ極メテ重大ナル問題デゴザイマスガ、公債政策ヲドウヤッテ行カナケレバナラヌカト云フコトハ、ヤハリ税制整理ガ確定致シマスコト、相關聯スルコト、思ヒマサルカラ、隨テ私共ノ今マデノ論議カラ解釋ヲ致シマス限リニ於テハ、將來ノ日本ノ公債政策ヲ中心トスル財政問題ハ、ヤハリ内閣審議會ヲ主トシテ、其處デハッキリシタ具體案ガ出ルノデアリマス、今議會ノ收穫ハ先ヅ軍需費ノ見透ガ、コ、四五年ハ九億カ十億アルト云フコトデアアル、一方ニ於テ、其間ノ繋ギハ、政府ガ實情ニ即シテ矢張ヤッテ行カレルト云フコト、是等ガ漸ッ、齊シク財政經濟ニ關心ヲ持チマス者ガ、本議會ノ收穫トシテ考ヘタ所デゴザイマセウ

ガ、其根見本ノ透ハ、無論歐洲金本位「ブロック」ガドウナルカ分ラナイ、弗モドウナルカ分ラナイ今日ニ於テ、現在ノ儘デヤッテ行ッテ、將來ノ根本方針ハ、矢張税制整理ト併セテ財政政策ヲ立テルノデアアル、是モ内閣審議會ノ重大ナル仕事ニナル、斯様ニ考ヘテ差支ナイノデゴザイマセウカ

○高橋國務大臣 審議會デ政府ノ公債政策マデ立テルコトガ可能デアルカナイカ、私一寸其點ニ付テハマダ自分ノ研究ヲシタコトガナイモノダカラシテ、御即答ハ出來マセヌ、ドウモ公債ト云フコトハ、時勢——内外ノ關係ニ於テ、一定ノ規則ヲ設ケテ、公債ノ取扱ヲ其規則ニ必ズ背イテハナラヌト云フヤウナ、定ッタ法規ニ依ッテ拘束サレルヤウナコトハ、國家ノ爲ニ私ハイケナイノデヤナイカ、如何ナル事ガ起ッテ、一時公債ヲ發行セネバナラヌト云フヤウナ事ガ起ラヌトモ限ラヌト思ヒマス、將來公債發行ニ付テ一定不變ノ法規ヲ定ムルト云フヤウナコトハ、是ハ不可能ナ事デハナイカト考ヘテ居リマス

○龜井委員 一寸終リノ言葉ニ、私ノ申上ダヤウガ足りナカッタカモ知レマセヌ、意味ハ、例ヘバ今日公債ノ利子、或ハ恩給ダケデモ、六億位アルシ、ソレカラ軍事費ガ大

約九億ト抑ヘテ行クト致シマスレバ、先ヅ十五億、斯様ナコトヲ今議會ヲ通ジテ親ハレルノデアリマス、サウ致シマスルト、今後益々政府ガ大ナル支拂者トナッテ登場ヲスルト云フ傾向ガ強イ、ドウシテモ豫算ノ嵩ハ二十一億カラ二十三億位ニハ行クノデヤナイカ、サウナリマス、其公債ヲドウ云フ風ニシテ行クカト云フコトニ付テハ、大藏大臣ガ既ニ委員會、總會等ニ於キマシテ、何レ段々景氣モ好クナリ、税ノ見込モ付イテ、サウシテ減債基金ノヤウナモノデモ出來ルヤウニナッテ行ケバ、ソレガ先ヅ赤字公債デナクテ、黒字公債ニナルト云フ意味ナンドカラ、サウ云フ時機ガ來レバ宜イト云フヤウナコトヲ仰シヤッテイラシヤルト諒解シテ居リマスガ、サウナルト、矢張税制ガ財政政策ノ中ニ重大ナル要件ヲ占メルカラ、財政ノ見透ハ、ヤハリ内閣審議會ノ税制整理ト相關聯ヲ持ツノデハゴザイマセヌカ、斯ウ云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリマシテ、法律デ縛ルト云フコトデハナイノデアリマス

○高橋國務大臣 サウ云フ意味デアレバ、此審議會ニ列スル人々ガ、國ノ公債ノコトニ付テ考ヲ全ク持タズニ、税制ノコトヲ考ヘルト云フ譯ニハ行クマイト思ヒマス、矢

張ソレモ考ノ中ニ入レテ置カナケレバナラスト思ヒマス、併シ作用、働ハ、一々ドウモ其審議會ニ掛クベキコトデハナクテ、其時ノ行政ニ當ッテ居ル人ガ、審議會デ決メタ法規ニ從ッテ働キヲシテ行クノデアッテ、其時機ガ、公債ヲ償還スベキカ、或ハ減債基金ヲ置イデズン——減ラシテ行クベキカ、サウ云フヤウナ働キハ其時ノ政府ノ行政ノ上カラスベキコトデアッテ、一々審議會ニ掛クベキ問題デハナカラウト思フ

○龜井委員 能ク分リマシタ、詰リ審議會ハ税制整理、サウ云フ問題ニ聯關ヲ有チ、サウ云フ問題ヲ決メテ行ク、其聯關ニ於テ財政政策モ影響ヲ受ケルコトハ事實デアルケレドモ、其運用ヲ審議會デヤル譯デハナイ、是ハ仰シヤル通りト思ヒマス、サウ致シマス今日財政政策ニ關聯致シマシテ運用スル規則ハ、審議會ガ作ルカモ知レナイノデアリマスガ、其規則ニ關聯致シマシテ私ハ三ツバカリ問題ガアルノデハナイカ、其一ツノ問題ハ、極ク簡單ニ申上ゲマスレバ、政府ノ財政權ニ關スル問題デアリマス、是ハ恐ラク同僚諸君ノ御考ト私ハ反對ノ考デアルト思ヒマスガ、例ヘバ臨時利得税ノ如キ税種ニ關シマシテハ、本來臨時利得税ヲ課ケテ、サウシテ其景氣季節ガ終ッタ

ナラバ、直グバット廢メルト云フヤウナコトハ、今日ノ財政ト、複雑化致シマシタル經濟機構ノ上カラ考ヘマスルト、爲替管理ニ對スル大藏大臣ノ管理權ガ議會ノ承認ニ依ッテ擴大サレマシタ如ク、是ハ何モ議會ノ豫算協贊權ヲドウスルト云フ憲法上ノ問題デハゴザイマセス、モット下ツタ問題デ、議會カラ或ル幅ノ委任決議ヲ受ケルヤウナ情勢ガ、各國ニ展開シテ居ルヤニ思フノデアリマス、詰リバット儲ケガ出タ時ニ、大急ギデバット課ケル、サウシテ議會ノ批判ヲ受ケル、適當ナ時期ヲ待ッテ廢メル、斯ウ云フ風ナ財政權ノ運用ニ關シテ、稍廣汎ナル幅ヲ大藏大臣ガ將來必要トセラレルヤウナコトハナイノデゴザイマセウカ、アルノデゴザイマセウカ、第二ハ、大藏大臣カラ度々本議場デ承ッテ居リマスヤウニ、今日各省ノ豫算ニ一ツノ統一ガナイ、其結果ガ農村救済ト云ヒ、土木事業ト云ヒ、極メテ散漫ナル結果ニ成リ終ッテ居ルノデアリマス、是ハ何カ豫算ハ一ツ統一サレルヤウナ必要ガアルノカナイノカ、第三ハ豫算ノ組方デアリマスルガ、今日經常部、臨時部、斯ウ云フ組方ガ、臨時部ハ或ハ資本ノ消耗ニ對スルモノ、或ハ一ツノ社會政策的ナモノ等、色々マア臨時ト云フコトノ、一時ノ政府ノ事業、

斯ウ云フヤウナコトガ今日財政ノ取扱ノ慣行ニナッテ居ルヤウニ見エルノデアリマシガ、將來國策ト云フモノヲ以テヤッテ行カレル上ニハ、是ハ臨時部ニ入ッテシマフ譯デアリマス、サウ云フ風ナモノハ豫算編成上ドウ云フ風ニシテヤッタ宜イカト云フ、御氣付キノ點ガアルノデハナイカ、サウ云フ點ヲ御氣付キデアアルナラバ、矢張審議會デ御審議ニ相成ルノデゴザイマセウカ、其點ハ矢張現行ノ儘デ適當ニ内閣ガ處理シテ行ッタ方ガ宜イト云フ御考デアリマスカ

○高橋國務大臣 亞米利加ノヤウニ議會ノ協贊ヲ經テ、行政ニ當ル者ガ廣汎ナ權利ヲ得テ行クト云フコトハ、ドウモ私ハマダ我國ニハ如何カト思ヒマス、心配ノ方ガ多いノデアリマス、成タケ出來ルダケ議會ノ協贊ヲ經テ、行政ノコトハヤッタ方ガ宜カラウト思ヒマス、大體其趣意ナリ、方法ナリニ付テハ、先以テ議會ノ協贊ヲ經テ、其議會ノ協贊ヲ與ヘタ其精神ニ基キ、其範圍ニ於テ行政ハ宜シキヲ得テ、其時ニ從ッテ實行シテ行クト云フノガ、先ヅマダ我國ニハ其方ガ安全ダト思ヒマス、ソレカラ第二ハ何デシタカ：

○龜井委員 豫算編成權ノ所在デゴザイマ

ス

○高橋國務大臣 是ハ矢張我國ニ於テハ、豫算編成ト云フコトハ政府ガ先ヅ持ッテ居ッテ然ルベキモノダト思ヒマス、若シ他ノ國ニアルヤウニ、議會ノ中ニ財政ニ關スル委員デモアッテ、歳入歳出ヲ其處デ見テ行ク、其處デ案ヲ立テルト云フヤウナ仕組ガ立ッテ居レバ別デアリマスケレドモ、先ヅ今ノ所デハ、矢張我國ニ於テハ從來ノ通り政府ニ於テ組立テ、議會ノ協贊ヲ經ルノガ宜イト思フ、第三ノ豫算ノ編成ノ仕方、其組立方ニ付テハドウカト云フコトデアアルガ、今日私ハ日本ノ豫算ノ編成ノ仕方、而シテ豫算ニ現レル所ノ組立ニ付テハ、此儘デハイカスト考ヘテ居リマス、併シサウ云フ根本ノ改革ヲスルコトニ付テハ、一應是ハ矢張審議會ニ諮ルベキモノダト思ッテ居リマス

○龜井委員 能ク分リマシタ、唯第二ノ點ハ申上ゲヤウガ惡カッタノデ、少シク誤解ヲシテ居ルヤウデアリマスガ、議會ニ置クカ、政府ニ置クカト云フノデナクシテ、政府部内ノ大藏省ニ置クベキカ、内閣ニ置クベキカト云フ問題デアリマスガ、併シ大體御趣意ハ分リマシタカラ、此程度ニ致シマス、サウシマス内閣審議會ト云フモノハ非常

ニ重大ナル役割ヲ持ツコトニナリマス、併ナガラ内閣審議會ヲ論議致シマスルコトハ、今日其機會デゴザイマセス、何レ追加豫算モ出ルト思ヒマスカラ、其際ニ致シタイト思ヒマスガ、唯本委員會ニ於キマシテ、大藏大臣ガ今日ノ我國ノ狀態ヲ見、又世界ノ形勢ヲ併セ考ヘテ見マスト云フト、是ハ經濟上私ハ一大革新ヲ起ス時勢ガ來テ居ルノダト思フ、斯ウ云フ御言葉ヲ言ッテイラッシヤイマスカラ、其御言葉ニ吾々ハ信頼ヲ致シマシテ、内閣審議會ノ問題ハ此程度ニ致シマスルガ、サウスルト非常ニ根本ノ重大ナル問題ガ内閣審議會デ決マルノデアリマシテ、ソコマデノ問題ハ繋ギノ問題ニナル、ソコマデ繋ギノ問題ト、内閣審議會ガ將來出來テ、其運用ガ果シテ旨ク行クカドウカノ準備、此問題ニナルト思ヒマス、ソコマデ私ハ第一ニ内閣審議會ガ出來テヤッテ行ク準備ト致シマシテ、私ノ所見ヲ申述ベマシテ御批判ヲ願ヒタイ、政策ヲ立テ、參リマスルノニ、今日マデ私ガ使用シ、松村君ガ使用シ、政府ガ御使用ニナッテ居リマスルヤウナ統計デハ、モウ遅イノデアリマス、今日ノ國民總テノ民衆ノ所得ト云フモノヲ見テ參リマスルノニハ、是ハ稅務署ガ今迄ヤッテ居ルノデゴザイマスルガ、將來

ハ此稅務署ノ任務、主稅官廳ノ任務ト云フモノガ非常ニ重大ナモノニナルノデハナイカ、詰リ徵稅ノ目安ヲ決メルバカリデハゴザイマセヌノデ、全體ノ國民所得ノ生キタ事實ヲ常ニ持ッテ居ル、詰リ簡單ニ申シマスタラバ、主稅官廳ト云フモノガスカリ日本中ニ網ヲ張ッテ、サウシテ其處デ出テ來ル國民所得ノ動キト云フモノヲ睨ンデ居テ、其意味合ニ於テ國策ガ出テ來ルノデナケレバ、內閣審議會ガ御出來ニナリマシテモ、是ハ足ノナイモノデハナイカト思フノデアリマス、隨ヒマシテ主稅官廳ヲ少クトモ內閣審議會ノ前提ト致シマシテ、大藏大臣ハ之ヲ充實シ、之ニハ經濟參謀本部ノ如ク、命令ヲスル機能ハナクナクテモ宜シウゴザイマスルガ、例ヘバ陸軍省參謀本部ガ各地ニ出シテ居リマス所ノ、諜報機關トシテノ如ク、完全ナル役割ヲ果スマデニ御擴充ニ相成ルコトガ然ルベキモノデハナイカト思ヒマスガ、大臣ノ御所見ハ如何デゴザイマスルカ

○高橋國務大臣 審議會ノコトハマダ決ラヌノデアリマスカラ、十分ニ御話ハ出來マセヌガ、是ハ決シテマダ內閣デ相談シタ譯デモ何デモナイ、御尋ガアルカラ唯私一己ノ今考ヘテ居ルコトダケデ申上ゲルカラ左

様ニ御承知ヲ願ヒマス、此審議會ト云フモノハ今ノヤウナ實際ヲ調べル委員ト云フモノガ必ズ備ハラナケレバナラヌ、唯學者、經驗者ヲ集メテ、一ツノ部屋デ學理ニ依ッテ議論ヲ闘ハシテ國策ヲ定ムルト云フ意味デハ決シテナクシテ、尊イ人々ノ一切ニ付テノ參考トナルベキモノヲ取調べル所ノ調査部ト云フモノガ出來ナケレバナラヌ、今御話ノ國民全體ノ所得ヲ調べタリ何カスルニモ、ヤハリ其調査部ガ一ツノ機關トナラナケレバナラヌト思フ、今日ノ稅務署ヲ審議會ノ準備トシテ、之ヲ擴張シ、之ヲモット働カセルト云フ考ハ私ハマダ有ッテ居ラス、ト云フノハ、唯稅務署ダケノ働キデハ十分ニ一切ノ參考トナルベキコトハ得ラレナイノデスカラ、是ハ審議會ガ出來レバ、審議會ノ中ニ調査局ト云フカ、調査部ト云フカ、サウ云フ機關ガ必ズ必要デアラウ、而モ私ノ考デハ其調査部ト云フモノハ一ツデハ濟マナイ、例ヘバ全國ヲ十ナラニ十分ケタトスルナラバ、其班ニ屬シテ居ル調査員ハ、

上ノ指導ヲ受ケ、サウシテ其受持ノ地方ニ毎年始終出テ、自分ノ指導シタ所ノモノガ如何ニ實際ニ現レテ居ルカ、又新ニ指導スベキ事ハドウ云フ事デアアルカト云フコトヲ、其地方ニ臨ンデ一般ノ調査部員ト云フ

モノガ調査シテ歩カナケレバナラヌ、ソレニハ矢張縣知事ヤ市町村長ナドモ一緒ニナッテ其方ニ盡カスル、斯ウ云フ仕組ニナラナケレバナルマイガ、是ハマダホンノ私一個ノ考デアル

○龜井委員 大藏大臣ノ御考ハ能ク分リマシタガ、內閣審議會ト聯關シテ申上ゲタモデゴザイマスカラ、ソコニ多少御諒解ノ不行届ヲ來シタカト思ヒマスガ、審議會ノ問題ト聯關ナク簡單ニ申上ゲマスレバ――寧ろ露骨ニ申上ゲタ方ガ宜イト思ヒマスガ、私ハ稅制財政ノコトハ是カラ勉強サシテ戴キタイト思ッテ居ルノデアリマシテ、何モ能ク知ッテ居ラスノデアリマスガ、唯私ガ讀ミマシタ種本ニ「サー・ジョーシア・スタンプ」ノ國民所得論ト云フモノガアリマシテ、ソレニ日本ノ所得稅ハ少クトモ三割程度ノ増加ガ見得ルモノデアッテ、所得稅ノ脫稅額ヲ五割以下三割ト見テ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ今日ノ主稅官廳ハ能率ニ於テ不足デハナイカ、其組織ニ於テ今日ノ

行政區劃ニ並行ラシナイ、寧ろ一ツノ經濟的區域ト並行シタガ如クニ分配サレテ、サウシテ併セテソコニ稅務監督局ナラ稅務監督局ナルモノ、所ニ、或ハ直稅部長ナリ、或ハ總稅部長ノ直轄ニ於テ、稅務監督ノ連

絡機關ナリヲ置カレテ、例ヘバ名古屋ノ蒞

蕩ト群馬ノ酢ト云フヤウナモノ、連絡ニ付テモ打合セガ出來ルノデナケレバ、又或ハ東北ノ米價ト蠶穀町トガ連絡スルノデナケレバ、本當ノ國民所得ハ出テ來ナイノデハナイカト思ヒマス、サウナレバ第一點ハ少シ能率ニ於テ足りナイ所ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、寧ろ是ハ人件費ガ殖エルト森田サンニ叱ラレマスケレドモ、多少殖エマシテモ、ソレダケ收入ガ増セバ宜イノデアリマスカラ、之ヲ擴充スルコト、擴充スル組織ハ經濟的領域ト云フモノヲ考ヘルコト、サウシテモウ少シ其間ニ連絡機關ヲ充足スルコト等ニ付テ、御所見ヲ伺ヒマシテ、若シ左様デアアルナラバ、併セテ今日ノ日本國民所得ノ移動狀態ニ付キマシテハ、大藏省ガ明確ナル睨ヲ御持ニナリ得ルノデハナイカト斯様ニ思ヒマスガ、御所見ハ如何デアリマスカ

○高橋國務大臣 左様ナ機關ニナルコトヲ私ハ希望致シマス

○龜井委員 大藏大臣カラ極メテ明快ナル御答辯ヲ得テ愉快ナノデアリマスガ、私ハ素人デ一向稅務ノ實務ハ分ラヌノデアリマシテ、是カラ勉強サセテ戴キタイト思フノデアリマス、此間カラ稅務官吏ノ理想的能

率及現在ノ能率等、其他數項ニ付キマシテ事務當局ニ參考書類ノ御提示ヲ御願シテアルノデゴザイマスガ、非常ニハ複雑ナ問題ヲ卒然トシテ御願致シマシタカラ、或ハ中々議會中ニハ御困難デハナイカト思ヒマスケレドモ、其點ニ付テ政府委員カラ一寸御答辯ヲ願ヒマス

○石渡政府委員 當委員會ニ於キマシテ御要求ニナリマシタ調査書類ハ、昨日提出致シマシタモノ、中、森田委員ノ要求ニ係ルモノ、昭和五年乃至八年ノ各事業年度ニ於テ第一種所得稅ヲ課セル法人ノ臨時利得稅ニ依ル資本金額、課稅所得額、同ジク之ヲ區分セル各法人數及所得稅額表、此表ハ御尋ニナリマシテカラ早速電報ヲ以テ各稅務監督局ニ照會致シマシタ、目下取急ニ調查中デゴザイマス、一兩日中ニ提出致シマス、ソレカラ昭和十年度分ノ第一種所得稅ト第三種ノ普通超過所得ノ見込、是ハ本日提出致シマス、ソレカラ矢野委員カラ要求サレマシタ臨時利得稅法類似ノ外國立法例、是ハ目下調製中デゴザイマス、相當長イモノデゴザイマスノデ、或ハ何處カ切ツタラト思ヒマシテ、今研究中デゴザイマス、ソレカラ現行所得稅、營業收益稅關係法令其他ノ法令ニ依リ免稅セラル、事

業種目、是ハ既ニ提出濟デゴザイマス、ソレカラ右事業ヲ營ム會社ノ昭和四年乃至九年度上半年期ノ各事業年度ニ於ケル資本金額、積立金額、繰越金額、利益金額、配當金額調、是ハ調查ガ難シイト存ジマス、ソレカラ今度ノ臨時利得稅法案ニ依ッテ課稅サルベキ法人及個人數、之ヲ左記ニ甲乙丙丁ニ依ッテ區分シロト斯ウ云フ御話デゴザイマス、此甲乙丙丁ニ付キマシテ、地方別ト致シマシテハ、府縣別ノヲ作成シテ既ニ提出致シマシタ、其内丙ハ是ハ調查困難ト存ジマス、甲乙丁ニ付キマシテハ目下調査致シテ居リマスノデ、出來次第差出シタイト存ジマス、ソレカラ大正元年以降大正十二年マデノ法人ノ收益率表、是ハ既ニ提出濟デゴザイマス、ソレカラ大正元年度以降昭和九年度マデノ各年度毎ノ法人所得表、是モ既ニ提出濟デゴザイマス、ソレカラ臨時利得稅ノ課稅ヲ受ケヌ法人デ、資本金五十萬圓以上ノモノ、收益率表、是ハ調查ガ難シイト存ジマス、其次ガ只今龜井サンノ御要求ニナッテ居リマシタ、稅務官吏ガ所得稅、收益稅ノ調査ニ當リマシテ、理想的ノ能率ト云フモノハ一體ドウナ程度デアルカ、一人前稅務官吏ノ數、現在ノ分擔程度ト能率ト云フモノハ一體ドウナ居ルカ、斯ウ

云フ御尋デゴザイマス、是ハ洵ニ御尤ナ御尋デゴザイマシテ、吾々ノ方ト致シマシテモ非常ニ參考ニナリマスノデ、先般來銳意調査ヲ致シテ見タノデアリマスガ、ドウモ今日ニ至リマシテ未ダニ満足ノモノガ出來マセヌ、是ハ一ツ今少シク吾々ノ方ニ考ヘサシテ戴キタイト存ジマス、ソレカラ中村委員カラ御要求ニナリマシタ昭和九年一月カラ十二月マデニ決定シタル法人ニ付テ、臨時利得稅ノ見積ハドウナルカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ御尋ノアリマシタ時分ニ御答致シテ置イタノデアリマスガ、此只今提出シテ居リマスル見込ノモノハ、各法人ノ内容ニ就キマシテ一々當リマシタ數字デゴザイマスノデ、正確ナ數字ヲ差出スコトハ甚ダ難シイト云フコトヲ御答致シテ置キマシタ、ソレデ何カ或ハ客觀的ナ數字ニ依ッテ出ルカドウカト云フコトヲ研究中デゴザイマスガ、是ハドウモ提出出來ルト云フコトヲ御受合ヒ致シ兼ネルカト存ジマス、ソカラ其次ノ中村委員カラノ御要求モ極メテ難シイ御要求デゴザイマスノデ、出來ルダケ是モ調査致シテ見タイト存ジマスガ、或ハ提出困難カトモ思フノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○岡田委員長 其程度ニシマシテ、他ノ分

ハ他ノ機會ニ御答辯ヲ願ヒマス

○龜井委員 只今ノ私ノ分ニ關シマスル部分ダケハ、非常ニ是ハ、特ニ新設都市稅務署ノ調査ノ如キ、當時稅法ノ變更モアリマシタ爲ニ、餘程御困難ナモノト思ヒマスガ、併シ非常ニ重大ナ事ト思ヒマスカラ、何レハ頂戴致シタイト思ヒマスガ、急ニ只今ノ議論ニ必要ダト云フ譯デモゴザイマセヌカラ、十分一ツユックリ御調べ願ヒタイト思ヒマス、隨ヒマシテ只今ハ推定申上ゲル外ハ仕樣ガナイト思ヒマス、ソレデ私ハ素人デゴザイマスカラ能ク分リマセヌガ、假ニ所得稅納入者ガ一萬人アルト致シマスルト、帳簿ヲ設備シテ居リマスル者ガ三千人、ソレニ對シマシテ調査能力ガ一人デ一日ニ帳簿ノ調ガ二人分ト致シマスルト、調査ノ所要日數ガ千五百日、此期間ガ一月カラ三月マデ七十五日ト致シマスルト、之ニ付テノ、所要人員二十人帳簿ナキモノ七千人ニ付キマシテ、一人デ調査シ得ベキ人員ガ一日二十人、サウシマスルト三百五十人所要人員ガ要リマシテ、期間ガ六十五日掛カル、サウスルトコ、デ約十五人バカリノ者ヲ必要トシテ來ルノデアリマス、更ニ一般ノ所得稅人員ハ納稅人員ノ一萬人ニ付テ八千人ト見マシテ、其調査整理ニ十人要スト致シ

マスト、大要一萬人ニ三十五人ト云フ數字ガアレバ略、宜イノデヤナイカト思フノデアリマス、所ガ今日ノ稅務官吏ト云フモノハ、昨日モ松田サンガ銀行検査官ニ對シテ銀行局ニ注意ヲ御促シニナリマシタヤウニ、人ガ少イカラ、隨テ査定ガ不親切ニナル、不親切ニナッテソコニ問題ガ起ルト云フ風ニナルノデアリマシテ、調査ノ費用ト徵收スベキ額トハ大シタ關係モナイト思ヒマスルカラ、此點ニ付キマシテハ今日ノ所、私ノ推算デハ大體從事員一人當リノ分擔ガ都市デハ千人位ニナッテ居ハシナイカト思ヒマス、其他デ平均八百人カ九百人ノ間デハナイカト思フノデアリマス、スルト、是ハ甚ダ先刻申シマシタヤウニ徵稅能力ガ缺ケルヤウニナリマシテ、サウシテ一方カラ所得稅ニ脫稅ガアルト云フ、二三財政學者ノ議論モ見ラレルヤウニナッテ來ルト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテハ特ニ大藏當局ノ御配慮ヲ煩シタイト思ッテ居リマス、ソレデ大藏大臣ノ御時間ガゴザイマセヌカラ、極ク簡單ニ伺ヒタイ、アトノ項目ヲ、項目ダケ申上デマシテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、總テハ前申シタヤウナ次第デ、繫ギナノデアリマス、ソコデ其繫ギノ中ニ付キマシテ、四ツバカリ、是ハドウシタラ

宜イカ大藏大臣ノ御教ヲ乞ヒタイノデアリマスガ、第一ハ昨日中村委員ガ申シマシタ通り、又大藏大臣ノ仰シヤイマシタ通り總花式ハ私モイカスト思ッテ居リマスガ、市町村ノ國家ノ委任事務、是等ガ非常ニ市町村財政ニ大キナ影響ヲ與ヘテ居ルノデゴザイマスガ、之ニ對シテ一體繫ギニドウヤッテ戴ケルノデゴザイマセウカ、ソレガ一ツソレカラ第二ハ政府ニ色々御配慮戴キマシタガ、例ヘバ救農土木事業ニ致シマシテモ、農繁期ニ仕事ガアル、農閑期ニナルト却テ仕事ガナイ、ソレデ仕事ヤル時ハ何時マデニヤラナケレバナラスト云フ狀態デゴザイマスカラ、却テ農村ノ賃銀ニ落チナイデ、方々ノ町カラ人ヲ掻集メテ仕事ヤスルト云フ風ナ、甚ダ政府ノ御趣意ニ副ハザル狀態ニナッテ居ル所ガアルガ如ク、例ヘバ穀ノ貯藏ニ對シマスル金融モ、無利子デゴザイマスガ、小作人ナドハ信用組合ニ入ッテ居リマシテモ、實際ハ貸シテ呉レナイノデス、無利子ダカラ、從來例ヘバ一ツノ農村ノ中デ、三百八十人居レバ、二十四人アル自小作以上ノ者ガソレヲ借りマシテ、サウシテ自分ノ預金帳ニ振込シテ、農村ノ預金ガ殖エタヤウニ見エマスガ、ソレヲ却ッテ利子ヲ附ケテ小作人ニ、貸シテ呉レテ居ルヤ

ウナ狀態デ、是デハ折角大藏大臣ガ、低利資金ヲ何トカシテ見ルト仰シヤイマシテモ、ドウモ旨ク行カスト思フ、是ハ一體ドウシタラ宜シイノデゴザイマセウ

第三ハ無論、總花式ニ、パット農村ニ金ヲ振撒クコトガイケナイト云フコトハ、十分判ッテ居リマス、今日ノ貧農ノ問題ト致シマシテ、是ハ事業ガナクナル、土工ノ仕事ニモ出ラレナイ、鐵道工事モ減多ニナイトナリマスト、今日ノ小作料ヲ納メマシタ後ハ、飯米ガ三月迄ト續カヌノデアリマス、是ガ所謂都會ノ近クデハ、季節労働ニ出テ、何トカシテ居ルノデゴザイマスガ、之ヲ農民ニスルナラバ、何トカ土地ヲ愛シマスルヤウニ、土地ノ耕作力、生産力ヲ維持スルヤウナ關係ニ持ッテ行カレルモノデゴザイマセウカ、或ハ都會労働デ、季節的ニ出シテ來ル賃銀ヲ以テ充テ、行ッたら宜イデゴザイマセウカ、是ガ第三點

第四點ハ、實際問題ト致シマシテ、農村ニ金ヲ落シマスル方法トシテハ、臨時利得稅ノ對象ニナッテ居リマスル所ノ、今日ノ景氣ノ好イ産業ニ、農村カラ出テ來ル労働者ガ中々多イノデアリマス、此勞銀ハ農村カラ出テ來ルノハ熟練工デハゴザイマセヌカラ、非常ニ二三重ニ人夫人入業ニ頭ヲハ

ネラレマシテ、一圓八十錢ノ中デ、一圓二十錢ノ實收入シカナイト云フヤウナ所デゴザイマシテハ、矢張其購買力ガ高マルヤウニシテ、多少ノ「マーヂン」ヲ農村ニ送ラレルヤウニセラレタガ宜イノデハナイカト思ヒマスガ、此四ツノ點ニ付キマシテ、御急ギト思ヒマスカラ、一寸御所懷ヲ伺ヘレバ、非常ニ幸ト存ジマス

○高橋國務大臣 第一ノハ、所謂繫ギト云フ——從來政府カラ言ヒ附カッテ、農村デハ其仕事ヤスル爲ニ、人手ガ要ル……

○岡田委員長 初メハ委任事務——市町村委任事務ニ付テノコトヲ聞イタノデス

○高橋國務大臣 委任事務デスカ、今ノ交付金ト云フ問題ハ、委任事務ト云フモノガ主ナモノニナッテ居ルノデス、其委任事務ニ對シテノ政府ノ差當リヤル工風ハ、ドウ云フ工風デアルカト云フヤウナ事ナンデセウガ、是ハ今迄度々申ス通り農村ニシテ、今日ドウシテモ自分ノ力デハ過スコトガ出來ナイ、救済ヲ要スルト云フコトガ、事實ニ於テサウデアレバ大體之ヲ救フ途ハ、資金ヲ貸スノ補助スルトノ二ツニアルノデアリマスガ、其二ツノ手段ニ依ッテサウ云フ窮迫シタル村落ニ付テハ、應急ノ手當ヲスルト云フ政府ノ考デアルガ、是ハ皆事情ガ

違ヒマセウ、例ヘバ村落デ十分ヤッテ行ケル、且ツ政府ノ委任事務モ執ッテ行ケテ困ラナイト云フ所ニマデ、今日應急手當ヲヤル必要ハナカラウト思フ、唯公平論ガ起レバ、困ッテ居ル所ニ手當ヲシテヤッテ、困ラヌ所ニ手當ヲセヌノハ不公平デアルト云フ議論ガ起レバ、是ハ不公平カモ知ラヌ、併シ大體ニ於テ今日困ッテ居ルモノヲ救済スルト云フノガ目的デアリマスカラ、委任事務ニ付テノ補償ハドウスルカト云フコトハ、別問題トシテ考ナケレバナラヌモノダト考ヘル

第二ノ、自分達ガ働カナケレバナラヌ時期ニ於テ、政府ガ仕事ヲ始メタカラト云ッテ、其仕事ニ自分達ガ雇ハレテ行ク譯ニハ行カヌ、ダカラ人ヲ雇ッテ來ナケレバナラヌ、サウスレバ政府ノ仕事ノ支拂フ賃銀等ハ其農村ノ農民ノ收入ニハナラヌ、斯ウ云フコトデアル、是ハドウモアルヤウニ私モ察シテ居リマス、一例ヲ過目舉ゲテ言ハレタコトヲ考ヘテ見マシテモ、例ヘバ東北ノ方ハ、三月、四月頃マデハドウモ雪ノ中デアッテ働ケナイ、働ケナイ間ハ生活シテ行クダケノ手當ハ今日アル、併シソレハ三月ナラ三月デ以テナクナル、其後ニナルト、自分達ノ田畑ニ就テ働カナケレバナラヌ、自

自分達ガ働クニ付テ、今度ハ一方ノ方ノ生活

スル途ガナクナッテシマッテ居ル、斯ウ云フモノハドウスルト云フ具體的ノ話ヲシタコトガアル、斯ウ云フモノハ、ドウシテモ田畑ニ就テ自分達ノ仕事ヲスル爲ニ、賃銀ガ取レナイノダガ、生活シテ行カナケレバナラナイノダカラ、左様ナ場合ニ於テハ、之ニ對シテ貸金ヲスルトカ、或ハ補助スルトカ云フ途ヲ立デ、行カナケレバナラヌト云フコトハ當然ノ話ダカラ、今御話ノヤウナ時期ノ問題ニ付テハ、出來ルダケサウ云フ喰違ヒノナイヤウニ、世話ヲシテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ル

第三ハ農民ヲシテ、其土地ニ於テ働イテ他所ヘ出テ稼イデ衣食ヲシナイデ、出來ルダケ農村ノ内ニアッテ、働イテ生活スル工風ヲシタラ宜カラウト云フヤウナ意味ニ聞エタ、是ハ最モ私共ナドモ賛成シテ居ル、サウ行キタイ、併シ其土地柄ニ依ッテハ或ル季節ニ於テ、一方ノ方ニ人手ガ足リナイ、其人手ノ足りナイ時ニ、一方ノ村ニ於テハ人手ガ餘ッテ居ル、サウ云フ場合ニ出テ稼グト云フコトハ已ムヲ得ヌコトダラウト思フ、併シ從來模範ノ農村トナルベキ農村ニ於テ、篤志家ガ此村ノ爲ニ世話ヲシタ其有様ナドヲ觀テ見マス

ト、成ベク其村ノ人ヲシテ、其土地ニ於テ働イテ生活ノ安定ヲ得ルヤウニト云フ目的ヲ指導シ、唯指導スルバカリデヤナイ、常ニ農作物ノ新タナル物ヲ作ラセ、新タナ市場ヲ拓ヘテ行クトカ云フヤウナコトニ始終努力シテ、能ク成功シテ居ル所モアルヤウデアリマス、併シ今申ス通り其土地ノ狀況ニ依ッテ、隣村ナリ隣縣ナリニ或ル時ニハ人手ガ必要デアルト云フ所ニ、恰度此方ニ閑ガアレバ、其處ニ出稼ニ行クト云フコトハ、是ハ賃銀ヲ取りニ出掛ケテ行クノデアリマスカラ、悪い事デヤナカラウト思フ、第四間モ矢張り今ノヤウナコトデヤアリマセヌカ

〔龜井委員「大體ソシナモノデス」ト呼フ〕

○高橋國務大臣 ソレデ御尋ノ要點ニ觸レマシタカ(笑聲)

○龜井委員 委任事務ノ點ハハッキリ分リマシタ、第二ハ低利資金等ガドウモ貧農マデ行カナイ、是ハドウシタラ宜カラウト云フノデス、ソレカラ第三ハ、小作人ハ出稼ヲシナケレバナラヌヤウナ狀態ニナッテ居リマスガ、都會地ニ出稼ノ出來ル所ハ宜イノデアリマスガ、ソレガ出來ナイヤウナ所ノ貧農小作人ガ、三月迄ノ飯米シカ持ッテ

居ラス、斯ウ云フ者ニ對シテハ、矢張り賃金、補助ヲシテ戴クト云フ風ナコトガ宜カラウト云フ趣旨ト了解致シマスナラバ、ソレデ御答辯ノ要領ハ得テ居リマス、サウ云フ意味ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ——ソレデハ大藏大臣ニハマダ貿易ノ事デ御尋ヲシタカッタデアリマスガ、御都合モゴザイマセウシ、外務大臣ガ見エラレマシタカラ、私ハ外務大臣ノ方ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、只今臨時利得稅ガ問題ニナッテ居ルノデアリマスガ、此臨時利得稅ノ意味ハ、一ツノ政治的綱領——此委員會ノ特色ノ空氣ガ、根本的ナ稅制整理ト云フコトデアッタノデアリマスガ、ソレハ内閣審議會ニ持ッテ行クノダ、ソコデ稅ガ決ッテ初メテ公債政策、財政政策等モ、ソレニ聯關スル限リニ於テ決ッテ行ク、財政運用ニ關スル官制、財政兼豫算ノ組方等モ其處デ決マル、斯ウナリマス、此内閣審議會ト云フモノガ非常ニ重大ナ問題ニナリマスガ、ソレハ追加豫算ノ時ニ議論スル、サウスルト問題ハソレマデノ繋ギ、斯ウ云フコトニ議論ガナッテ來タ、其繋ギノ準備ニ、私ハ稅務當局ノ事ヲ伺ヒ、且ツ繋ギニ農村ノ事ヲ伺フコトニシテ、今カラ入ル問題ハ、若シ政治的綱領デアルト仰シヤルナラ、政府ハ少クト

モ一部産業ニ増益ノアルヲ見テ居ラレ
ノデアリマス、増益ガアルカラ、ソレカラ

金ヲ取ルコトハ、別ニ社會正義ノ上カラデ
モナケレバ、收入ヲ圖ル爲メデモナク、唯

政治的ナ達觀カラ、サウヤッタ方ガ社會思想
上宜カラウト云フ風ナ御議論デアッタノデ

アリマス、サウ致シマス、臨時利得税ハ
何カラ出テ來タカト云フコトニナレバ、所

謂軍需「インフレ」ヲ中心トスル政府ノ景氣
政策ト、貿易「インフレ」カラ出テ來ル、貿

易業ノ發展カラ出テ來ルノデアリマス、ソ
レデ私ハ其内部ニ於ケル賃銀ガ、一方デハ

臨時利得税ヲ取ラレル程儲ケテ居リナガ
ラ、サウシテ會社ハ一割二分カラ三割マデ

ノ配當ヲシテ居ルモノガ主ナル會社デアリ
ナガラ、其間ノ勞働條件ガ惡イト云フコト

ヲ、商工大臣ニ今マデ御尋ラシテ居リマシ
タノデスガ、此勞働條件ヲ唯抽象論トシテ

論ズルナラバ、是ハ如何様ニモ論ジ方ガア
ルト思ヒマス、併シ少クトモ實際ニ即シテ

議論ヲスルト致シマスナラバ、臨時利得税
ガ、將來少クトモ石渡政府委員ノ言ハレマ

シタヤウニ、或ハ二三年デ終ルカモ知レナ
イ、イヤ、モウ少シ長クナルカモ知レス、
モウ少シ底ガ早クアカモ知レスト云フノ
デアリマスガ、結局或ル年限ハ、臨時利得

税ノ客體タル増益ガアルモノト見テ居ラレ
ルノデアリマス

ソコデ外務大臣ニ對スル御尋ハ——外務
大臣及理財局長竝ニ商工省ニモ御尋シタイ

ト思フノデアリマスガ——今日ノ入超ノ情
勢ト云フコトナノデアリマスガ、斯ウ云フ

風ナ入超ノ情勢ガ續キ出ス、イヤ其前カラ
日本ノ輸出貿易ガ頭ヲ打ッタ感ノアツコト

ハ、是ハ一通リ經濟ニ關心ヲ有ッテ居ル者
ノ言フコトデアリマスガ、其原因ハ一體何

處ニアラデアラウカ、斯ウ云フコトニナル、
其考方ヲ申上ゲテ見ルナラバ、一時ハ聯盟

脫退ノ報復デヤナイカ、是モドウモソレバ
カリデハナイラシイ、ソレナラバ日本品ガ

不正競争ダ、是モマア國際聯盟ノ「モーレ
」ノ報告デ大體見當ガ付イタ、斯ウナリ

マスナレバ、今日日本ガヤッテ居リマスルコ
トニ對スル方々ノ廣イ意味ノ排日貨ノ目標

ト云フモノハ、大體國際産業ノ平和ヲ案ス
ト云フ意味カラ高率關稅ナリ、割當制度ナ

リヤッテ居ルノデアルト思フノデアリマ
スガ、私ハ理由ハ兎モアレ、其裏ノ原因ハ

矢張先進國産業ノ没落ニアルノデハナイ
カ、ソレニ對シマシテ、例ヘバ來栖君ナン
カハ、サウデヤナイ、是ハ今外國ガ一時苦
シイノダカラ、苦シイ時ダケヲ日本ガ適當

ニ我慢ヲシテ居レバ、向フガ苦シクナクナ
レバ、日本ノ輸出ニ對スル制限ハ、何レ撤

廢スルデアラウト云フガ如キ印象ヲ與ヘル
講演ヲ爲サツテ居リマスガ、私ハサウデヤ

ナイト思フ、ソレハ自由主義的ナ見方ニ基
ク歐米經濟ノ見方デアリマスガ、向フハ頭

ヲ突イタ捻鉢紛レニ、日本品ノ輸入ガ苦シ
クナッテ、サウシテ自衛的ニ防衛手段ヲ講ジ

テ居ルノデアリマシテ、一時難局ヲ突破ス
レバ立チ直ルト云フヤウナ見解デナク、是

ハ向フノ日本貿易ノ拘束、防衛手段方法ハ、
相當長ク續クモノデアルト私ハ見テ居リマ

スガ、外務大臣ノ御所見ハ如何デゴザイマ
セウカ

○廣田國務大臣 只今龜井君ノ御質問ニナ
リマシタ日本カラノ輸出品ノ排斥ノ原因

ハ、何處ニアルノカト云フ點ニ付キマシテ
ハ、隨分日本ノ産業ガ發達シタ結果、貿易ノ

伸張トナリ、各地デ色々ノ手段ニ依ッテ其防
止ヲセラレテ居ルノデアリマスガ、是ハ矢

張其國ノ狀態ニ依ッテ、ソレノ違フコトデ
ハナイカト思フノデアリマス、現ニ日本

品ガ非常ニ入ッテ居リマス國ガ、同種產
業ヲ有ッテ居ルヤウナ國デハ、相當是ハ
自國産業、自國製品トノ競争ヲ防グ爲
ニ、日本品ノ輸入ヲ防ガナケレバナラ

スト云フ點カラ見マス、双方ノ國ノ
産業ノ狀態、生産費ノ多寡等カラ來ル競争

デアリマスノデ、只今龜井君ノ御話ノ
ヤウニ、相當深刻ニ是ハ來ヤセスカト思フ

ノデアリマス、所ガ一方南米其他ノ農業國
ニ對スル輸出ニ付テ、日本品ノ輸入ガ阻止

サレテ居ル狀況ハ、サウ云フ風ノ産業ノ衝
突ト云フヨリモ、寧ロ其國ノ農産物等ノ輸

出ガ今日世界的ニ非常ニ困難ニナッテ居ル、
ソレニ日本品ガ他ノ國カラ來ル品物ヨリ安

イガ爲ニ、買ヒタクハアルガ、日本ノ方デ
ハ其國ノ產出スル農産物ヲ買ッテ呉レナイ

ト云フノデ、成ベク日本ノ側ノ方ニモ其國
ノ農産物ヲ買ハスルヤウニ仕向クル一ツノ

手段トシテ、日本品ニ對シテ割當デハ關
稅ノ増加等モ、致シテ居ル國モアルノデア

リマスノデ、國ニ依ッテ色々其點ハ違フト思
ヒマスガ、今申上ゲタヤウナコトガ大體工

業國ト農業國ニ於ケル日本品ノ輸入阻止ノ
原因デハナイカト思フノデアリマス

○龜井委員 外務大臣ノ御趣意ハ能ク分リ
マシタガ、私ノ申上ゲル意味ノ、各國皆違

フト云フコトモ能ク分リマス、ソレカラ同
時ニ相當必死ニナッテ居ルト云フコト
モ分リマスガ、結局私ガ率直ニ申シマスル
ナラバ、日本ガ適當ナ方法ヲ以テ行ケバ、

今日ノ貿易伸張力ハ維持シテ行ケルノデヤ
ナイカト云フ點デアリマス、他ノコト申
シマスナラバ、此前ノ總會デ町田商工大
臣ハ、日本ノ建前ハ出來ルダケ矢張輸出超
過主義ヲ採ルケレドモ、ソレデモ各市場デ
排斥ヲサレルカラ、一方デハ協定ヲシテ行
クノダ、斯ウ云フ御話デアリマス、所ガ此
委員會ニ於キマシテ、高橋大藏大臣ノ御考
ハソレヨリ少シ進ンデ居ル、進ンデ居ルト
言ッテハ失禮デアリマスガ、少シ違フ、ソレ

易ノ「バランス」ヲ取ル所ニ輸出ヲ強ヒテ強
ク主張シナイ方ガ、却ッテ今日ノ貿易現勢ハ
維持出來ルノデヤナイカト思ヒマスガ、御
考ハ如何ナモノデセウ

○廣田國務大臣 私ハ大體ニ於テ日本ノ輸

ハ矢張輸出超過主義デ押スト、却ッテ逆作用
ガ來ルカラ寧ロ全體ノ貿易ト觀テ見ルナラ
バ、高橋大藏大臣ハ當時自給自足主義ト云
フ言葉ヲ御遺ヒニナリマシタ、ソレハ言葉
ハ何デモ宜シイノデアリマスガ、多分輸出
入均衡主義ノ意味デアラウト思ヒマス、均
衡主義デマア當分ヤッテ行クノ他ハアルマ
イ、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ラレルノデア
リマス、ソコデ私ノ御尋ノ要旨ハ、無理ニ
輸出ノミ促進シヨウト掛カルト云フコトニ
ナルト、方々カラ障碍ヲ生ズル、サウデヤ
ナクテ、支那市場デアルトカ、滿洲市場ハ
別デアリマスルガ、他ノ一般ノ市場ニ於キ
マシテハ、矢張各國別ノ、品種別ノ數量協
定主義デ、寧ロ當業者ノ考方ト反對デアリ
マシテモ、國策デ寧ロ協定ヲ促進シテ、貿

出ハ、趨勢トシテハ増加ノ趨勢ニアルト思
フノデアリマス、是ハ日本ノ今日ノ産業狀
態カラ來ル非常ナ長所ヲ有ッテ居リマスノ
デ、次第ニ殖エル傾向ニ大體アルモノデア
リマス、ソレガ外部ノ力ニ依ッテ阻止サル
ル場合モ、色々アルト思フノデアリマスガ、
大體ノ趨勢ヲ障碍ナカラシムルヤウニシテ
行クノニハ、其國々ノ性質ニ依ッテ適當ナ
方法ヲ立テ、行カナケレバナラス、其立テ
テ行ク方法トシマシテ、是マデ外國デ採ッ
テ居ル方法ヲ見マシテモ、大體其國々ノ貿易
ノ「バランス」ヲ保ツト云フコトヲ、中心ニ
置イテ居ルヤウニ思フノデアリマス、隨テ
世界各國ガ大體サウ云フヤウナ觀念デ參リ
マス、日本モ輸出ヲ増加スル方針デアッ
テモ、自然貿易ノ「バランス」ヲ保ツコトヲ
以テ、満足シナケレバナラスト云フヤウナ
事態ニナッテ來ヤセヌカ、是ハ非常ナ大キ
ナ大勢ト云フモノヲ見マス、サウ云フ風
ニモ見エルノデアリマス、隨テサウ云フ風
ニ押サレテ來タ場合ハ、ドウ云フ風ニシテ

日本ノ貿易ノ「バランス」ヲ保ッテ行カト
云フコトニナリマス、日本ハ日本ノ産業
ノ發達ニ伴ッテ輸入ト云フモノガ——主ト
シテ原料品タル所ノ輸入ガ、段々ニ増加シ
テ參ルト思フノデアリマス、サウ云フ場合
ニハ、日本ノ輸入品ニ付テソレ——日本ノ
輸出ト相俟ッテ、適當ニ輸入ヲ割當テルト云
フヤウナ考方ヲシナケレバナラスノデハ
ナイカ、是マデハ主トシテ輸出統制ト云フ
コトヲ獎勵ノ意味ニ於テ、或ハ外國ノ日本
品ニ對スル阻害ニ對抗スル方法トシテ、輸
出ノ統制ト云フコトニ主トシテ重キヲ置イ
テ居ッタノデアリマスガ、將來日本ノ貿易ガ
自然「バランス」ヲ保タナケレバナラスト云
フ狀態ニナッテ參リマス、日本ノ輸入ニ付
テノ統制ヲ考ヘナケレバナラストニナッ
テ參リハセヌカト思フノデアリマス、殊ニ
今日ノヤウニ貿易ガ輸入超過ノ狀態ニナッ
テ參リマシテ——將來ノ趨勢ガ必ズシモサ
ウデアルトハ私ハ申シマセヌ、又輸出超過
ノ時代モ來ルカモ知レナイト思ヒマスガ、
差當リ現在ノヤウニ非常ナ輸入超過ノ狀態
ニアル時ハ、尙更輸入ノ統制割當ト云フコ
トニ付テ考ヘナケレバ、現在ノ日本ノ輸出
ノ狀況ヲ維持スルコトモ、或ハ困難ニナリ
ハセヌカト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、

此輸入ノ統制ト云フコトハ、實ハ輸出業者
ノ利益ヲ擁護スルト同時ニ、輸入業者ノ利
益ヲ擁護スル意味ニ於テ、輸出入業者ノ双
方ノ利害モ考ヘ、又結果トシテハ國家全體
トシテノ利害ヲ考ヘ、或ハ或ル方面ニハ相
當保護ノ適用ニ壓力ヲ加ヘナケレバナラス
ト云フヤウナ事態モ、起ッテ參リハセヌカト
思フノデアリマス、何レニシマシテモ、今
ノヤウナ貿易ハ大體輸出超過ニナルヤウナ
運命ニアルト、私ハ思フノデアリマス、現
在ノ狀況トシテハ輸入超過ノ狀態ニアリマ
スノデ、此輸出狀況ヲ維持スル爲ニ、或ハ
輸入ノ方ニ付テドノ國カラ主ニ買ッテ居ッ
タ品物モ、將來ハソレヲ幾分分ケテ他ノ方ノ
國カラ輸入スルト云フ風ニ、之ヲ仕向ケテ
行ッテ、サウシテ現在ノ輸出ノ狀態ヲ維持シ
テ行クト云フ風ニ進マナケレバナラストノデ
ハナイカト考ヘテ居リマス

○龜井委員 大體輸入統制ヲサレル、サウ
ナレバ今ノ輸入輸出ノ量ト云フモノハ、私
ハ維持サレルト思ヒマスシ、又輸出増加ノ
趨勢ニアルコトモ、大臣ト共ニ確信シテ疑
ハナイ者デアリマス、外務大臣ニ其點ダケ
ヲ御確メシタカッタノデアリマス、サウ致
シマスト軍事豫算ガ四五年續クト、輸
出貿易ノ趨勢ハ若シ入超ガ續ケバ輸入統

制マデ行ッテ行ク、斯ウ云フコトニナリ
マスレバ、本臨時利得税ノ客體タル増益
ト云フモノハ、存在ガ四五年アルコトハ
事實デアル、所ガサウナリマスト先程商
工大臣ニ御尋ヲ致シマシタコトデゴザイマ
スガ、當時工務局長ハ居ラレマセヌデ
シタカラ、簡單ニモウ一度繰返シテ申上ゲ
マスルナラバ、輸出貿易或ハ軍需工業關係
デハ、非常ニ會社ガ利益ヲ擧ゲテ居ル、然
ルニ定額賃銀ハ減ッテ居ル、所ガ減ッテ居
理由ハ、各工場ガ熟練工ノ賃銀ヲ引下ゲタ
ノデハナクシテ、臨時工或ハ人夫名義ノ職
工ヲ非常ニ殖ヤシタコトニ依ッテ、平均定額
賃銀ガ減ッテ來タ、其コトヲ私ハ前ニ商工當
局ニ御考ハドウデアルカト伺ッタラ、商工大
臣ハ工務局長ニ聽イテ吳レト云フ御話デ
アッタノデアリマス

○竹内政府委員 賃銀ノ問題ハ勞働統計ノ
中デモ大變ムヅカシイモノデアアルコトハ、
龜井サン御承知ノ通りデアリマス、大體賃
銀ノ實體ヲ統計ニ擱ヘルコトガムヅカシイ
ト云フコトガ、一ツノ原因ヲ成シテ居ルト
思フノデアリマス、隨ヒマシテ大體今日ノ
賃銀ガ如何様ニナッテ居ルカト云フコトハ、
現存シテ居リマス賃銀統計ガ不完全デアリ
マスカラ、其統計ノミニ依リマシテ、此處

デ論議スルコトハ實ハ當ヲ得ナイノデハナ
イカ、斯様ニ考ヘマス、恐ラク龜井委員モ
御同感デアラウト思ヒマス、但シ箇々ノ產
業ヲ擱ヘテ申シマスルト、好況デアリマス
ル産業ニ於キマシテハ、大體ニ於テ賃銀ハ
上ッテ居ル、斯ウ常識的ニ考ヘラレルノデア
リマス、ソレガ統計ニ依ッテ現レマシタ、所
デ、只今御話ノヤウニナッテ居ルモノ、ア
リマスルコトモ、認メナケレバナラスト思
ヒマス、其原因ニ付テノ大體御尋デアルト
思ヒマスガ、只今申シマシタコトヲ先ヅ前
提トシマシテ御答ヲ致シマス、熟練工ノ賃
銀ハ別ト致シマシテ、不熟練職工ノ多ク使
用サレテ居ル事業ニ於キマシテハ、賃銀ノ
昂騰ガ著シクナイコトモ認メマス、是ハ要
スルニ一般ガマダ全體的ニ好況デアリマセ
ヌ爲ニ、勞働ノ供給ガ多イト云フコトガ、
其大勢ヲ支配シテ居ルノデハナイカ、斯ウ
云フコトヲ考ヘルノデアリマス、尙ホ商工
大臣ニ御尋ノ點ガ色々アッタヤウデアリマ
スガ、ソレハ逐次御尋ニ依ッテ御答スルコ
トニ致シマス

○龜井委員 勞働供給ガ多イト云フコトハ
今工務局長ノ仰シヤイマシタ通り、不熟練
工ノ賃銀ノ安イト云フコトガ、原因デアラ
ウト私モ考ヘマス、サウナリマス、今度

ハ寧ロ商工省ノ御管轄デハナイノデアリマ
スガ、勞働ノ供給ガ多イ、ソレガ供給サレ
テ居リマス今日ノ臨時利得税ヲ受ケル會社
デ、ドウ云フ恰好デ働イテ居ルカト申シマ
スト、職工ニナッテ居ルノガ少イ、本工ニナ
テ居ルノガ少イ、詰リ大キナ一流會社ニ
於キマシテハ、例ヘバ日蓄デアルトカ、日
石、淺野製鐵、日本鋼管ト云フヤウナモノ
ヲ見マス、本工ノ外ニ臨時工ヲ置キマシ
テ、臨時工ノ外ニ人夫ヲ持ッテ居リマス、又
更ニ二流ノ會社、寶燒酎、伊藤染工場其他
ノ捺染工場等ニ於キマシテハ、是ハ本工ヨ
リモ臨時工、臨時工ヨリモ人夫ノ數ガ殖エ
テ居ル、更ニ三流工場ニナリマス、昭和
鍍金、東亞鍍金等ノ工場ニナリマス、所謂
職工ナルモノハ本工モ臨時工モ居ラナイ、
全部人夫名義デ人夫請負供給業者カラ供給
サレマシテ、隨テ其關係ト云フモノハ、待
遇ニ於キマシテモ、健康保險ノ關係デモ、
工場ノ關係デモ、賃銀デモ「ボナナス」デモ、
解雇手當ノ關係デモ、非常ニ違ッテ來テ居
ルノデアリマス、ソコデ私ノ伺ヒタイ點ハ、
今日臨時利得税ノ課税ヲ受ケマス増益ヲ見
テ居ル會社ノ勞働ガ、存外熟練工ニアラズ
シテ、北海道ノ監獄部屋程デアリマセヌ
ガ、少クトモ北九州ニ昔アリマシタ納屋頭、

或ハ今日ノ土木業ノ人夫程度ノ勞働待遇ニ
依ッテ、働カサレテ居ル事實ヲ大分發見スル
ノデアリマスガ、商工當局ノ御考ハ如何デ
アリマスカ

○竹内政府委員 只今冒頭ニ御話ガアリマ
シタ通り、主トシテ此問題ハ勞働行政ノ主
管ニ屬スル問題ト思フノデアリマス、隨テ
私ヨリ御答致シマスノハ如何カト思ヒマス
ルガ、唯御尋ノ中ニ熟練職工ヨリモ不熟練
職工ガ多イ、是モ業態ニ依ッテ色々ゴザイ
マセウガ、大體日本ノ産業ニ付テハ、サウ
云フコトガ常識的ニ言ヘルグラウト思ヒマ
ス、ソレナルガ故ニ賃銀統計ニ現レタ所ガ
非常ニ低イノデハナイカ、斯様ナ前提ノヤ
ウデアリマスルガ、龜井サンモ多分御持チ
ニナッテ居ルコト、思ヒマスガ、商工省デ發
表致シテ居リマス賃銀統計ハ大體職業別ニ
ト申シマス、例ヘバ機械女工ノ賃銀デア
ルトカ、或ハ製絲女工ノ賃銀ト云フ風ニ統
計ヲ取ッテ居リマス、其統計ヲ見マス、昭
和四年ノ年末ヲ基準ト致シマス極メテ微
弱デアリマスガ、最近ハ少シ上ッテ居ル
ト私共ハ見テ居リマス、御承知ノ通り賃銀
ハ大體財界ノ影響ヲ受ケルコトガ極メテ不
鋭敏デアリマシテ、財界ガ好況デアアル際ニ
直チニ賃銀ノ昂騰ヲ見ナイト同様ニ、財界

或ハ今日ノ土木業ノ人夫程度ノ勞働待遇ニ
依ッテ、働カサレテ居ル事實ヲ大分發見スル
ノデアリマスガ、商工當局ノ御考ハ如何デ
アリマスカ

ガ可ナリ不況ニ喘イデ居ル時デモ、貸銀ハ依然トシテ低落ヲ示サナイ、是ハ先程申上

シテ略、窺フコトガ出來ルト思フノデアリマス、隨テ之ヲ逆ニ裏カラ申シマスレバ、財界不況ノ爲ニ物價ノ低落シテ居ル時ニハ、貸銀ト云フモノハ實質的ニハ非常ニ上ツタ

ヤウナコトニナルト思フノデアリマス、ソレニシマシテモ今日私共ノ考デハ、比較的好影響ヲ受ケテ居ル企業ニ於キマシテ、其利益ヲ經營者ガ自分ノ力ダケデ得タモノ、ヤウニ考ヘテ居ルコトハ、是ハ正シクナイ

考方ダト考ヘテ居リマス、隨テ有ユル機會ニ是等ノ點ニ付キマシテハ私共ノ考ヲ申シテ居ルコトモアリマス、又中小工業ニ於キマシテハ相當好況ニ惠マレテ居ルモノモアリ、又未ダ其域ニ達シナイモノモアリマス

ガ、少クトモ好況デアアルモノニ於キマシテハ、其利益ヲ廣ク他ノ産業ニ及ボスコトガ望マシイト同様ニ、從業者ニモ其利益ニ與ラシムルト云フコトニ導イテ行クト云フコトハ、吾々トシテ當然考ヘナケレバナラヌ

コトダト思フテ居ルヤウナ次第デアリマス、御尋ニ對シテ直接ノ御答デハアリマセスガ、御趣意ノ在ル所ヲ私考ヘマシテ御答スル次第デアリマス、直接ノ御答ハ或ハ勞働行政

官廳カラ御答スル方ガ宜イノデハナイカト考ヘマス

○岡田委員長 龜井君、アナタノ御質問ハ内務省ニ段々關係シテ來ルヤウデスガ、是ハ内務大臣竝ニ内務省ノ政府委員ノ見エル時ニサレテ、一應打切ラレテハドウデスカ

○龜井委員 サウ致シマス——只今商工當局ノ御話ハ御趣意ハ能ク分リ、且ツ御指導ノ御方針ニ對シマシテモ頗ル贊意ヲ表スル所デアリマシテ、折角其御方針ヲ遂行セラ

レンコトヲ希望スルモノデアリマス、唯ソコデ一言、ハッキリ分リマシタノハ、定額賃銀ニ付キマシテハ只今ノ仰セノ通り、實收賃銀ニ於キマシテハ事實上、テ來テ居ルノ

デアリマス、上ツテ來テ居ル原因ガ勞働ノ寧ロ強化ニ依ルノデハナイカト私ハ思ヒマシテ、強化ニ依ルノデアルナラバ、商工大臣、大藏大臣ノ御方針通り、ソレヲモウ少シ分

散シテ、最低時間制デモ御決メニナッタラドウカト云フ議論ニナラウカト思フテ居タノデアリマスガ、ソレハ矢張勞働行政ノ關係デアリマシテ、商工省トシテハ只今ノ政府

務當局ニ伺フコトニ致シマス

○岡田委員長 ソレデハ龜井君ノハ内務當局ニ對スル御質問ガ留保サレテ居リマス、ソレハ適當ノ機會ニ質問ヲ許シマス

○岡田委員長 サウ致シマス先程申上ゲタ通りニ、國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案以下臺灣銀行法中改正法律案ニ至ル迄ノ、各案ヲ議題ニ致シマシテ、

各案毎ニ質問ヲ進メルコトニ致シマス、尤モ其以前ニ政府ヨリ御説明ノアルベキモノガアリマスレバ、此際一括シテ御説明ヲ願ヒタイ、但シ日本銀行納付金法中改正法律案ニ付テモ、必要ガアレバ御一緒ニ御説明

ガアツ宜シウゴザイマス

○矢吹政府委員 ソレデハ日本銀行納付金法中改正法律案ニ付テ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、日本銀行納付金法ニ依リマスレバ、納付金ハ同行ノ毎事業年度ノ純益金

中ヨリ一定ノ基準ニ依ツテ納付セラル、モノデアリマスガ、其性質ハ一種ノ公課ト見ラルベキモノデアリマス、隨テ納付金ハ現

行法ニ於キマシテ、日本銀行ニ對スル所得稅及營業收益稅ヲ課稅スル場合ニ、課稅ノ基準トナルベキ所得及純益ノ計算上、之ヲ

損金トシテ取扱フベキモノナルコトヲ規定シテ居ルノデアリマスガ、臨時利得稅ヲ課スル場合ニ付キマシテモ同様ニ取扱フノガ

至當ト考ヘラレマスノデ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス

次ニ造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案提出ノ理由ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ大體御説明ガアリマシタガ、更

ニ多少詳細ニ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、造幣局ノ廳舎及工場ノ大部分ハ、概ネ明治初年ニ建造シタモノデアリマシテ、其建築ハ既ニ數十年ヲ經過シテ居リマスノミナラズ、耐震ノ構造上極メテ憂慮スベキ點ガ多クアルノデアリマス、仍テ夙ニ是ガ改築計畫ヲ樹立シ、大正十五年度ヨリ昭和三年度ニ互ル三箇年間ノ繼續費トシテ、豫算百十二萬三千餘圓ヲ計上致シマシテ、造幣計畫上支障ヲ來スコトナク、且ツ建物ノ現狀ニ照シ急速改築ノ必要アリト認メマシタ

ナルモノゴザイマス、又金庫ハ廳舎ノ地下室、其他各所ニ散在シ、其多クハ土藏式ノモノデアリマシテ、今日トナリマシテハ甚ダ不完全ナモノデゴザイマス、且ツ昭和四年三月造幣局特別會計法改正ノ結果、未發行ニ係ル補助貨幣ヲ造幣局資金ニテ保有スルコト、ナリマシタノミナラズ、近時金銀地金ノ品位證明、又ハ精製依頼ニ依ル輸納數量ガ著シク増加致シマシタ爲、常時多額ノ補助貨幣ト、金銀地金ヲ保管スル必要ヲ生ズルニ至リマシタノデ、現在頗ル金庫ノ狹隘ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、隨テ速ニ堅牢ナル金庫ヲ設ケ、保管ノ完璧ヲ期スルノ必要ガアルノデアリマス、仍テ是等ノ廳舎工場、其他ノ用ニ供スル建物及其附屬設備ノ新營ヲ爲ス必要ガアリマスノデ、昭和十年度乃至同十二年度ニ互リ、右建物及附屬設備ノ新營計畫ヲ樹テタノデアリマスガ、其所要財源ハ、造幣局資金ノ内二百十三萬五千五百三圓ヲ限リ一般會計ニ繰入レテ、之ニ充ツルヲ適當ト考ヘマシテ、是ガ爲本法律案ヲ提出致スコト、ナッタ次第デアリマス

次ニモウ一ツ朝鮮銀行法中改正法律案及臺灣銀行法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、朝鮮銀行及臺灣銀行ノ銀行券保證發行ノ限度ハ、朝鮮銀行券ニ付テハ五千萬

圓、臺灣銀行券ニ付テハ二千萬圓デアリマシテ、右金額ヲ超過スル保證發行ニ對シテハ、年五分ヲ下ラザル割合ヲ以テ發行稅ヲ課スルコト、ナツテ居リマス、最近ハ最低率タル五分ノ課稅ヲ致シテ居リマス、然ル所最近内地ニ於ケル低金利ノ趨勢ニ伴ヒマシテ、朝鮮及臺灣ニ於キマシテモ、金利ガ著シク低下シツ、アルノデアリマス、試ニ兩地ニ於ケル普通銀行手形貸付ノ平均金利ニ付テ見マシテモ、朝鮮ニ於テハ昭和七年六月ハ日歩二錢八厘、同八年六月ハ二錢七厘、同九年六月ハ二錢三厘トナツテ居リ、又臺灣ニ於キマシテモ、昭和七年六月ハ二錢七厘、同八年六月ハ二錢五厘、同九年六月ハ二錢二厘トナツテ居リマス、又兩行ノ國債擔保貸付最低利率ノ如キモ、昭和七年三月ニ、朝鮮銀行ニ於テハ日歩二錢一厘ヨリ二錢ニ、臺灣銀行ニ於テハ二錢ヨリ一錢九厘ニ引下ゲテ以來、累次引下ガ行ハレマシテ、同八年七月ニハ兩行共一錢四厘、即チ年利五分一厘一毛トナリマシタガ、爾來今日迄此利率ガ据置カレテ居ルノデアリマス、朝鮮及臺灣兩地ニ於ケル斯ノ如キ金利ノ趨向ニ鑑ミマスレバ、兩行ノ制限外發行稅率ノ最低限度ハ之ヲ低下スルノ必要ヲ認メマシテ、茲ニ本改正案ヲ提出致シタノデアリマス、本改正

案ニ依リマスレバ、兩行ノ制限外發行ニ對シテハ、年三分ヲ下ラザル割合ニ於テ大藏大臣ガ時々適當ト認メル所ニ依リ、實際適用スベキ稅率ヲ定メルコト、ナルノデアリマス、以上御説明申上ゲマス

○岡田委員長 是ヨリ國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案、此案ニ付テ御質問ヲ願ヒマス、大山君

○大山委員 國際文化事業ニ付キマシテ私ハ外務大臣ニ御尋ヲ致シタイノデアリマス、多少國際關係ニ觸レマスル故ニ、或ハ御差支ノ點ガアルカモ知レマセヌガ、此處ハ委員會デアリマスカラ、成ベク率直ニ御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス、一體今度御提案ニナツテ居リマス 此國際文化事業ノ趣旨カラ申シマスルト、國際文化事業ノ必要ナコトハ吾々モ認メルノデアリマスガ、唯其經費支辨ノ途ニ付テ、所謂對支文化事業、今日デハ東方文化事業トナツテ居ルカノヤウニ思ヒマスガ、其資金ヲ之ニ繰入使用スル、斯ウ云フ御方針ノヤウデアリマスガ、此事ニ付キマシテハ我國内法ノ會計法ノ上カラ相當難カシイ議論モアルヤウデアリマス、是ハ我黨ノ大口委員ヨリ既ニ先般其第一聲ヲ放ツテ居ラレルノデアリマスカラ、私ハ其點ニ關シマシテハ暫ク大口委員ノ御議

論ニ譲リマシテ、主トシテ之ヲ一般財政ノ上カラ見、又國際關係ノ上カラ見テ、外務大臣ニ御伺ヲ致シタイト思フノデアリマス、事財政ニ關シマスル問題トシマシテハ、先程丁度大藏大臣ガ御見エニナッテ居タノデ、併セテ伺ヒタカッタノデアリマスケレドモ、只今大藏大臣ハ御退席ニナッテ居ルノデアリマスカラ、場合ニ依リマシテハ大藏省ノ政府委員ヨリ御答辯ヲ煩ハスカモ知レマセヌ、前提ハ此位ノ程度ニ致シテ置キマシテ、直ニ本論ニ入ッテ御尋致シマス

先ヅ外務大臣ニ御尋ヲ致シマス、大正十四年五月ニ御協定ニナリマシタ東方文化事業ノ總委員會、此委員會ハ今日マデ未ダ存續致シテ居ルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、聞ク所ニ依リマスレバ、昭和四年ニハ支那側委員ガ全部辭任ヲサレテ居ルヤウニ承ッテ居リマスガ、日本側委員ノミデ今日マデ矢張御繼續ニナッテ居ルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○廣田國務大臣 其委員ハズツト引續キ繼續シテ居リマス

○大山委員 其引續キ繼續シテ居ルト云フ意味ハ、日本人ノ委員ノミデ繼續致シテ居ルノデアリマスカ、ドウデスカ

○廣田國務大臣 支那側ノ委員ガ辭シマシテ後ハ、日本側ノ委員ダケデ致シテ居リマス

○大山委員 昭和七年ニ此東方文化事業ノ一部ニ日滿文化事業協會ト云フモノヲ設ケラレマシテ、其事業ヲ此資金ノ中カラ御經營ニナッテ居ルヤウニ承知致シテ居ルノデアリマスガ、其際ハ支那側ノ意嚮トハ關係ナク、全ク滿洲國ト日本政府トノ間ノノ協定デ之ヲ御作リニナッタノデゴザイマセウカ、ドウデスカ

○廣田國務大臣 是ハ日本側ノ考デ實行シテ居リマシテ、支那側トハ特ニ協定ハ無イト思ヒマス

○大山委員 此對支文化事業、即チ今日デハ東方文化事業トナッテ居ルノデアリマスガ、是ノ設定ニ付テハ、當時ノ日本駐在ノ支那公使汪氏ト我が出淵大使トノ間ニ協定ガアリマシテ、其協定ガ基ニナッテ支那側カラモ委員ヲ出シ、日本側カラモ委員ヲ出シテ、サウシテ此委員會ガ設定サレタヤウニ伺ッテ居リマスガ、ソレニ間違ナイノデスカ

○廣田國務大臣 其通りダト思ヒマス

○大山委員 併ナガラ其委員會ハサウ云フ協定ニ依ッテ出來テ居ルニ拘ラズ、支那側ガ退カレテモ、日本側ノ單獨意思ノミデ勝手

ニヤレルヤウニ出來テ居ルノデアリマセウカ、勿論是ハ外務大臣ノ諮問機關ニナッテ居ルヤウデアリマスカラ、法制上ハ或ハソレデ宜シイカモ知レマセスガ、實際ノ運用上ニハ支那側ノ意思ニ關係ナク、何事モ自由ニヤレル建前ニナッテ居ルノデアリマセウカ、其點ヲモウ一度伺ヒマス

○廣田國務大臣 支那側ト申合セマシテ委員會ヲ作ルト云フコトガ原則ニナッテ居ルノデアリマスガ、支那側ノ辭任ノ結果已ムヲ得ズ、今日ノヤウナ事態ニナッテ居ルノデアリマス、法ノ命ズル文化事業ハ日本側ノ考デ實行スルノ外ナイト思フノデアリマス

○大山委員 サウ致シマスト昭和四年以來ハ全ク支那側ノ意嚮ヲ顧慮スル必要モナク、日本ノミノ考デヤルト云フ建前ノ下ニ日滿文化協會モ矢張御作リニナリ、又今度ノ國際文化事業ニ對シテモ同様ナ建前ノ下ニ御進メニナッテ居ルノデアリマセウカ、重大ナコトデアリマスカラ、モウ一應念ヲ押シテ伺ヒタイ

○廣田國務大臣 支那ニ對シマスル文化事業ノ事實上ノコトハ、當初支那側トノ諒解ニ依ッテ實行ニ著手シタノデアリマシテ、ソレハ其儘其趣旨ニ依ッテ實行致シテ居ルノ

デアリマス、滿洲ニ關スル文化施設ハ、是ハ日本側ノ意思ダケデ實行シタト思フノデアリマス、今度ノ國際文化ノ事業ノ方ニ金ヲ一時繰替ヘルト云フコトハ、是ハ根本ノ法ノ精神ヲ動カサヌ程度ニ於テ、其處ニ金ヲ暫ク融通スル途ガアルカラ便宜使フト云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、根本的ニ對支文化事業ノ資金ヲ此方ニ使ッテシマフ、使用スルト云フ意味デハナイノデアリマス

○大山委員 其處マデハマダ伺ハナカッタノデアリマスガ、其處マデ御返事ガアレバ大變結構デアリマス、繰替使用スルトナッテ居リマスカラ、御返シニナル答デアリマス、借用スル意味デアリマスカ、使用スル意味デアリマスカ

○廣田國務大臣 ソレハ一般會計ニ餘裕ガ出來マシタ時ハ返ス方針デ居ルノデアリマス

○大山委員 ソレハ此御提案ノ趣旨ニハ現レテ居リマセス、ソコガ非常ニ重大ナル問題デアラウト思フノデアリマス、是ハ委員會ノコトデアリマスルカラ、私ハ率直ナ事ヲ申上ゲマスルガ、若シ御差支ノ點ガアリマシタラ、後デソレハ削除致シテ宜シウゴザイマスガ、元來根本的ニ申シマスルナラ

バ、此金ハ團匪賠償金ガ本ニナッテ居ル、申スマデモナク支那側カラ日本ヘ拂フ所ノ團匪賠償金ガ本トナッテ、對支文化事業ト云フモノガ設定サレタノデアリマス、外國ニハ或ハ此團匪賠償金ヲ放棄シテ居ル國モアル、日本ハソレヲ放棄スルヤウナ無意味ナコトヲシナイデ、日支兩國ノ文化ノ交通ニ之ヲ利用シヨウ、斯ウ云フ立派ナ精神カラ設ケラレタ所ノ特別ナ施設デアアルノデアリマス、成程日本ガ支那カラ財源トシテ之ヲ受入レタ以上ハ、此金ヲドウ使ハウガ拘束ハナイ、又元來此對支文化事業ニ致シマシテモ、日本ノ法令ノ範圍内ニ於テ籌畫ラシ、及ビ決定ラシ監視ラシテ行クト云フコトガ建前ニナッテ居ルノデアリマスルカラ、外務大臣ノ監視下ニ於テ、日本ノ法律命令ノ範圍内ニ於テ行ハレテ居ル所ノ此事業デアリマスルカラ、又日本ノ外務大臣ノ下ニ監視サレテ居ル所ノ日本ノ特別會計デアアルノデアリマスルカラ、ドウ之ヲ御ヤリニナラウトモ差支ナイ答デアアル、併ナガラ此運用ニ付テハ、左様ナ關係ガアレバこそ支那側カラモ委員ヲ出シ、日本側モ委員ヲ出シテ、其諮問ニ與リ、其意見ヲ徴シテ、之ニ參畫サセル、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ルノデアリカト思フ、然ラバ昭和四年ニ支那側

ガ全部擧テ委員ヲ辭任致シタト云フノハ、ソレハ他ノ政治上ノ理由、他ノ外交上ノ經緯カラ來タ所ノモノデアッテ、決シテ本事業其モノニ對スル支那側ノ發言權ノ放棄デハナカッタデアラウト私ハ解スルノデアリマス、果シテ然ラバ現外務大臣トシテハ、此狀態ヲ回復スルコトニ御努力ニナルノガ先以テ急務デハナカラウカ、此故ニ私ハ昨午ノ決算委員會ニ於テ、現外務大臣ニ對シテ、對支文化事業ノコトニ付テ、何等カ此從來ノ方針ヲ御改メニナル意思ガ有ルカ無イカト云フコトヲ伺ッタノデアリマス、所ガ其當時外務大臣ハ何等之ヲ改ムルノ意思ハ有ッテ居ラス、今ノ狀態デ運用シテ差支ナイト云フ御答辯ガアッタノデアリマス、然ルニ突如トシテ茲ニ國際文化事業ト云フモノヲ御提議ニナッテ、是ハ最モ機宜ヲ得タル御計畫——御計畫トシテハ最モ宜シキモノデアッテ、各國際間ニ於テ日本ハ「ミリタリズム」ノ國デアアル、軍國主義ノ國デアアルト云フヤウナコトラ言ウテ居ル際ニ、此文化ノ交通ノ上ニ、東西文化ノ融合ヲ御圖リニナル爲ニ、斯様ニ立派ナ精神ノ事業ヲ御計畫ニナルト云フコトハ、洵ニ我國ノ外交工作ノ上ニモ一段役立ツト、私ハ衷心ヨリ贊成致シタイノデアリマス、併シ此事業ヲヤ

ラレル爲ニ特別會計ヲ設定サレ、其特別會計ハ而モ同ジ趣旨ノモノデアリ、同ジ目的ノモノデアリ、而シテ又財源ガ同ジモノデアルトスルナラバ、何ガ故ニ特ニ又之ヲ特別會計ニ御設定ニナッテ、ソシテオヤリニナルノデアラウカ、ソコニ私ハ一ツノ疑義ヲ有ツノデアリマス、一方ニ對支文化事業特別會計ガアリ、而シテソレハ唯範圍ガ東方ニ限ラレテ居ルト云フニ過ギナイ、是ハ支那側ト日本側ト滿洲國側ト日本側ト、矢張國際文化ノ一ツデハナカラウカ、同ジ趣旨ノ事業デアリ、而シテ目的モ同ジウサレテ居ル、唯地域ガ東方ト——ソレハ南洋ニ及ブカ、或ハ西洋ニ及ブカ知リマセヌガ、今度地域ガ擴大サレルニ從ッテ又相手國ガ違フニ依ッテ特別會計ヲ御設定ニナルト云フコトデアッタナラバ、是カラ幾ツ御拵ヘニナル積リデアアルカ、相手國ガ違フニ從ッテ特別會計ヲ御設定ニナルト云フコトデアッタナラバ、非常ナ數ニナラナケレバナルマイ、趣旨、目的、而モ其財源マデモ同ジ財源カラ御支出ニナルト云フコトデアラナラバ、ソレハ甚ダ吾々迷ハザルヲ得ナイ、何ガ故ニ同ジモノヲ別途ノ特別會計ヲ御設定ニナッテ、別途ノ事業トナサレテ、態、世ノ中ノ視聽ヲ聳動セシムルヤウナ舉ニ御出ニナッ

タノデアリマセウカ、其邊ヲモウ一度伺ヒタイノデアリマス

○廣田國務大臣 對支文化事業ノ資金ノ基礎トシテハ、前ニ御述ニナリマシタ義和團事件ノ賠償金ト云フモノガアルノデアリマスガ、實ハ御承知ノ通り其他ニ山東省ニ於ケル鐵道其他カラ生ズル收入等モ、其資金ノ基礎ニナッテ居ルノデアリマス、而シテ是等ノ資金ヲ基礎トシタ對支文化事業ト云フモノハ、只今御話ノ、法律ニ依ッテ其使途ガ限定サレテ居リマシテ、其資金カラ生ズル一定ノ金額以內デ事業ヲ經營スルコトニナッテ居ルノデアリマス、所ガ今度ノ文化事業ト云フモノハ、文化事業ト云フ點カラ申シマスト勿論同ジ性質ノモノデアアルノデアリマス、併ナガラ現存ノ法律デ其地域マデ限定シテ特殊ノ資金ヲ基礎トシテ文化事業ヲ行フコトニナッテ居リマスノデ、法律其モノ、内容ニハ觸レナイデ、サウシテ一般ノ國際文化事業ヲ行ヒ得ルヤウニ、一時其金ノ餘裕ヲ利用スルコト云フ建前デ、今度ノ費用ヲ請求シテ居ルノデアリマス、併ナガラ今度ノ費用ノ請求ト云フモノハ、是ハ一般豫算ノ請求デアリマシテ、特ニ國際文化事業ノ爲ニ新ニ特別會計ヲ設ケルト云フ趣旨デハ無論ナイノデアリマシテ、一

般會計ノ方カラ豫算ノ支出ノ途ガ立チマスレバ、無論ソレニ依ッテヤルベキモノデアッテ、特ニ此爲ニ特別會計ヲ設ケテ居ルノデハナイノデアリマスカラ、其點ハ御諒解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○大山委員 一寸、率直ニ申上ゲマスト云フト、耳障リカモ知レマセヌガ、耳ヲ掩ウテ鈴ヲ盗ムト云フ感ガアル、對支文化事業ノ特別會計ノ金ハ、目的ガ限定サレテ居ルカラ、ソレデハ手ガ著ケラレナイ、繰替使用ト云フ會計法上ノ便宜手段ニ依ッテ、一般會計ニ其金ヲ持ッテ來テサウシテ使フ、餘裕ガアッタ拂フ、併シ是ハ國際文化事業ト云フモノハ、政府ノ説明ニ依リマシテモ、又事業本來ノ建前カラ申シマシテモ、一年ヤ二年ノモノデハナイ、永久的ノ是ハ繼續事業デアアル、大事業デアアル、大事業デアルトスルナラバ、本年ハ是デ宜シイ、急ニ之ヲ思立タレテ、サウシテ豫算編成後ニドウシテモ間ニ合ハヌカラ、取敢ヘズソレデハ此際ダケ對支文化ノ方カラ繰替使用ヲ認メテ貰ハウ、來年カラノハ斯ウ云フ財源ガアル、斯ウ云フコトデアリマスルナラバ、ドウカ來年カラノ財源ヲ御示シヲ願ヒタイ

○廣田國務大臣 ソレハ豫算編成以後ニ財

源ヲ特ニ之ニ求メタト云フノデハアリマセヌノデ、豫算編成前ニサウ決ツタノデアリマス、サウシテ今度ノ支出ノ方法ハ、當分ノ間其餘裕ノアル資金ヲ利用スルト云フコトニナツテ居リマスノデ、來年ニナレバ別ニ財源ヲ求メテ之ニ充ツルト云フコトニハ相成ツテ居ナイノデアリマス

○大山委員 其處ガ非常ニ會計法ノ上デ困ル、サウ云フコトデ此會計法ヲ紊ル、コトガ非常ニ困ル、是ハ大藏省ノ政府委員ニ御尋ラスベキ筋合デアリマスルカラ、後デ又大藏省ノ政府委員ニ御尋ラ致シタイト思ッテ居ルノデアリマスルガ、取敢ヘズ外務大臣ハ、大藏大臣ノ御諒解ヲ御得ニナツテ、サウシテ斯ウ御ヤリニナツタノデアルカラ、アナタノ立場トシテハソレハモウ何トモ思ッテ御出デニナラヌカモ知レマセヌケレドモ、此特別會計ノ法律ニ依ツテ設定サレタ趣旨目的以外ニ、之ヲ他ノ目的、他ノ事業、先程申シマシタノトハ、少シ嚴格ナル意味ニ於テ申シマスルナラバ、他ノ事業他ノ目的のナンデアル、他ノ費途ニ之ヲ繰替使用スルコトヲ一遍途ヲ開キマスルト云フト、ソレハ成程議會ヲ御通シニナルノデアルカラ宜イヤウナモノデアルケレドモ、其都度是ハ煩ニ堪ヘナイコトニナルノデアリマス、

寧ロサウ云フ御處置ヲ御執リニナルヨリモ、今マデ御ヤリニナツテ居ラタ其建前カラ行キマスルナラバ、何ガ故ニ對支文化事業ノ特別會計法其モノヲ御改メニナツテ、サウシテ之ヲ國際文化事業トシテ廣ク一般ノ同ジ目的ノ下ニ使ヒ得ル金ニ改正ヲナサラヌカ、對支文化ト云フモノヲ、「對支」ノ字ヲ削ツテ既ニ内容ニ於テハ東方トマデ擴ゲテ行ツタノデアルカラ、更ニソレヲ擴ゲテ國際ニ擴ゲテ、國際文化事業特別會計ト之ヲ御改メニナツテ、サウシテ其費用ノ途ヲハッキリトナスツタ方ガ簡單ニ行クコトデハナカラウカ、ソレヲ態々同ジ此議會ヲ煩シ、政府ハ色々ナ答辯ヲセラレ、説明セラレ御努力ニナル、同ジ手續ヲ御執リニナルナラバ、國際文化事業デ初メカラ御ヤリニナツタ宜イデヤナイカ、ソレヲ態態此別ニ爲サツタ理由ガ何處カニアルノデヤナカラウカ、モウ一應御伺致シマス

○廣田國務大臣 會計法ニ關スル點ハ、私ハ此處デ申上ゲルダケノ知識ヲ有タヌト思フノデアリマスガ、對支文化事業ノ資金ノ餘裕ノ部分ヲ、國際文化事業ニ一時流用スルコトニ致シマシタ精神ハ、對支文化事業ノ方ハ、一ツノ法律デ永久的施設ガ出來テ居リマスノデ、ソレハ外務省ト致シマシテ

ハ、餘リ之ニ手ヲ觸レルコトガ好マシクナイ、永久的ノ施設トシテ是ハ殘シテ置クコトガ適當デアル、是ハ資金ノ由來カラ申シマシテモ、サウ考ヘル方ガ適當デアルト思ツタノデアリマス、併ナガラ一方最モ急ヲ要スル一般ノ文化事業ヲ行ヒマス必要上、幸ニ法ノ命ジテ居リマス對支文化事業ノ費用ノ上ニ相當ノ餘裕ガアリマシタノデ、便宜手段トシテ、一時ソレヲ流用スルコトニ致シタ積リデアルノデアリマス

○大山委員 一寸私ノ御尋致シテ居ルコトニ對スル、何カ唯斯ウ御辯解ノヤウデアリマスケレドモ、決シテ御辯解ニ及バナイ、私ハ此國際文化事業ニハ贊成ナンデアリマス、唯其手續方法ニ付テ、之ヲ別途ニサレタト云フ趣旨ヲ伺ヒタカッタノデアリマス、今御話ノ如ク對支文化事業ノ方ハ手ヲ著ゲタクナイ、其儘ニシテ置ク、斯ウ云フ方針デアル、併シ國際文化事業ハヤリタイ、金ガ無い、仕方ガナイカラ手ヲ著ゲタ、繰替流用ト仰シヤルケレドモ、矢張對支文化事業ノ方ニ手ガ著イテ居ル、名前ハ何トアリマセウトモ、實質上ハ繰替使用シテ居ル、而モソレガ一年限りナラバマダ何トカサウ云フ御辯明モ立ツカト思ヒマスガ、當分ノ間ト仰シヤル、當分ノ間ト云フコトハ、此

間カラ、此頃ノ現内閣ノ非常ニ是ハ重寶ガラレテ御用ヒニナル、如何ナル場合ニモ當分ノ間ト云フコトヲ御使ヒニナル、減債基金ヲ御止メニナル時ニモ當分ノ間、今度ノ臨時利得稅デモ當分ノ間、本改正案モ當分ノ間——經費支辨ノ法律案モ當分ノ間、當分ノ間ハ何日マデ經ツデモ當分ノ間、ソレデ繼續シテ、其意味ノ中ニ於テ繼續シテ、是ハ年々御使ヒニナルモノト云フコトハ、誰ガ見テモ常識デ判斷スル、何モ會計法上ノ特別智識ヲ要シナイ、恐ラク外務大臣モ其腹デアラレルノデアラウト思フ、財源ヲ求メズシテ事業ヲ御計畫ニナル筈ガナイ、又財源ノナイ事業ニ對シテ大藏省ガ御同意ニナル筈ガナイ、アノ金ガアイテ居ルカラ、アノ金ヲ使ヘバ宜イデヤナイカ、今ノ大藏大臣トシテモ、今ノ大藏省ノ政府委員トシテモ、決シテ一年限りデ之ヲ流用スルト云フコトヲ御認メニナツタモノデナイ、斷ジテナイト私ハ思フ、又外務大臣モ或ハソレハ大藏大臣ヲ承服サセル爲ニ、イヤ一寸デアル、一寸貸セ、斯ウ云フ御話デアッタトシテモ、一寸デハ濟マナイ、ヤリ初メタラ是ハ繼續シナカッタ何ニモナラナイ、ソコデ繼續シテヤルト云フコトニナレバ、繼續的ノ財源ガ要ル、繼續的ノ財源ガ要ルトスル

ナラバ、之ヲ御使ヒニナツテ宜イデハナイ
カ、團匪賠償金ダカラト云ツテ之ヲ支那バカ
リニ使フ必要ハナイ、廣ク使ツタカラト云ッ
テ差支ナイ、ドウ處分爲サラウトモ構ハヌ
譯デハナカラウカ、南洋ノ方ニ之ヲ若シ使
フトスレバ、南洋ニハ支那人ガ非常ニ澤山
行ッテ居ルノデ、サウ云フ風ニ日本ガ支那ノ
爲ノ文化事業ヲ行フトシテモ、極メテ有益
ナモノデアアル、何處ヘ持ッテ行ッテ御使ヒニ
ナツテソレハ「バリ」デス、病院ヲ造ラ
ウト、學校ヲ造ラウト、支那人ガ同ジク之
ニ惠澤ヲ蒙ル權利モアレバ、又機會モア
ル、デアアルカラソレヲ特ニ國際文化事業部
ト云フ獨立ノ部ヲ一ツ外務省ノ中ニ御置キ
ニナツテ、サウシテ此事業ヲ御始メニナルト
シタナラバ、對支文化事業ト始メ内容ヲ同
ジクシ、ヨリ大ナル範圍ガ擴ガルダケノ話
デアアルカラ、之ヲ一ツ同ジ國際文化事業ト
云フ建前ノ中ニ包容爲サレテ、何處ヘデモ
使ヘル、同ジ趣旨ノ下ニ御使ヒニナルト云フ
コトガ本當デアアル、一體日本ノ——是ハ外
務大臣ニ向ッテ申上ゲルノデハナク、大藏省
政府委員ノ方ガ居ルカラ申上ゲルノデ、改
メテ質問ハシマスルガ、一體日本程特別會
計ノ多イ國ハナイ、幾ツモ小——サイ「ボ
ケツト」ヲ拵ヘル、其特別會計ノ總額ダケ

ガ五十九億何千萬圓ト云フモノニナツテ居
ル、資金ガ一般會計ヨリ餘程大キイノデア
ル、何デモ宜イコトヲ思ヒ付イタラ直チニ
特別會計ニスルガ、ソレハ特別會計デハナ
イノデ、海外ニ於テ學校ヲ日本人ノ爲メナ
リ、又居留民ノ學校ナリ設ケ、或ハ道路ヲ
拵ヘ、或ハ圖書館ヲ設ケ、病院ヲ建テル、
日本人ノ爲ニ之ヲ造ルト云フコトハ外務省
ソレ自體ノ責任デハナイ、外務省當然ノ事
務デハナカラウカ、外務省ノ一般經費デ以
テ之ヲヤルノガ本當デアアル、ソレヲ態、特
別會計ヲ設定爲サレテ——今ノ御話デハ、
特別會計ヲ設定シテスルノデハナイ、外務
省ノ一般經濟ノ下ニ於テ此事業ヲ獨立サシ
テ、一ツノ事務室ヲ作ッテ、ソコデ事業ヲ別
ニヤルンダト、斯ウ云フ御話デアリマスル
ケレドモ、仕事ソレ自身ハ獨立シタ仕事ニ
ナル、對支文化事業ト云フモノヲ何處マデ
モ相手國ノ人間ノ居ナイ、相手國ノ委員ノ
參加シナイ、日本單獨ノ意思デアルノニ、
ソレヲ何處マデモ尊重サレテ、サウシテ御
置キニナリ、態、裏口カラ行ッテ其金ヲ引張
リ出シテ使フト云フコトデハ何ニモナラナ
イ、是ハ少シ言葉ヲ慎ミタイト思ヒマス
ガ、適當ニ後デ修正ヲ願フトシマシテモ、
内容ヲ言ヘバサウ云フコトニナル、モツト對

支文化事業トシテモ、今日ハ午前中ニ此會
議ヲ開キタイト思ッタニモ拘ズ、外務大臣ハ
王寵惠ト御約束ガアルト云フコトデアッタ、
斯様な機會ニ斯ウ云フ質問ハ、私ハ致シタ
クナイ、致シタクナイノデアアルガ、皮肉ニ
モサウ云フコトニナツテ來タノデアリマス、
日支經濟ノ提携、日支國交ノ上ニ日支文化
ノ發展、或ハ融和、是等ノ上ニ於テ、爲サ
ルベキ仕事ハモツト——澤山アルデヤナカ
ラウカ、餘裕ガアルト云フノハ、大體不
思議ナ位デアアル、ソレハ昨年ノ質問ノ際ニモ
申上ゲタ通り、趣旨ヲ履キ違ヘラレテ居
ル、日本人ノ爲ノ文化事業デヤナイ、最初設
定スル場合ニハ、支那國ト日本國トノ雙方
ノ爲ノ文化事業デアッタ筈ナノデアリマス、
サウシテ見タナラバ三百萬圓ヤ四百萬圓ノ
金ガ使ヒ切レナイ筈モナシ、又今ノヤウナ
遣方デハ決シテ感心シタモノデハナイ、デ
アリマスカラ、是ハ何等カ今ノ内ニ御考ニ
ナツラドウカト云フコトヲ昨年伺ッタ、其
時ニハ今ノ所改正スル意思ハナイ、改正シ
タクナイト仰シヤッタ、改正シタクナイト仰
シヤッデモ、對手方ハ發言權ヲ抛棄シテ居
ルノデヤナカラウカ、又今伺ヘバ團匪賠償
金ダケデハナイ、他ノ金モ入ッテ居ル、ソレ
ハ承知シテ居リマス、ケレドモ他ノハ滞ッ

テ居ッタリ、入ッテ來ナカッタリシテ當ニハ
ナラヌ金デアアル、當ニナルノハ團匪賠償金
ガ基礎デアアル、ソレハ今日デモ其通りデア
ル、デアリマスカラ、斯様な金ヲ以テ國際
文化事業ノヤウナ重大ナル事業ニ御臨ミニ
ナリ、一時繰替使用ト云フヤウナ事デナ
ク、何故正々堂々正面カラ是ハ一般經費ト
シテ御要求ニナラナカッタゾデアアルカ、今ノ
ヤウナ百萬圓バカリノ金ヲ一時繰替使用ト
云フノデ、一寸失敬シテ之ヲ御使ヒ爲サラ
ウトナサラヌデモ、是ハ一般會計ノ方デソ
レダケノ餘裕ヲ御取リニナツテ御使ヒ下サッ
トラ差支ナイデヤナイカ、アナタノ仰シヤ
ルコト、爲サルコト、ハマルデ違ッテ居
ル、仰シヤルコトハ對支文化事業資金ニハ觸
レタクナイ、斯ウ云ッテ御置キニナツテ、サウ
シテ國際文化事業ハ對支文化事業ヨリ寧ロ
優越シテ、或ハ全ク獨立シテヤル事業デア
ル、而シテ其對支文化事業ノ金ヲ一時一寸
失敬シテヤルノダ、此案ニハ對支トモ何ト
モ書イデナイ、繰替使用ト書イデアル、是
ハドウ云フ手續ニナリマスカ、是ハ大藏省
ノ方デハドウ云フ風ニ會計上ノ途ヲ御立テ
ニナルカ、其邊ニ付テハ何レ大口委員カラ
御話ガアルト思ヒマスカラ、私ハ其點ハ
讓ッテ置キマスケレドモ、吾々カラ考ヘテ

見テモ、是程不合理ナ會計ノ經理ハアルマ
イ、特別會計ノ濫用デアルト考ヘマス、ソ
コデモウ一應、何故ドウシテモ國際文化事
業ト云フモノヲ對支文化事業ヨリ離レテヤ
ラナケレバナラヌカ、此點ヲ御伺致シマス
○廣田國務大臣 文化事業ノ性質カラ申シ
マスレバ、無論同一ノ事デアルト思フノデ
アリマス、併シナガラ日本ガ文化事業ヲ始
メマシタノハ、先ヅ對支文化事業デアリマシ
テ、幸ヒソコニ日支間ニ特別ノ金ノ授受スル
モノガアルト云フノデ、ソレヲ基礎トシテ
對支文化事業ト云フモノヲ先ヅ起シタノデ
アリマス、サウシテ其特別ナ資金ヲ永久的
ニスル爲、ニ特別會計ト云フ制度ヲ設ケラ
レタモノデアルト私ハ諒解致シテ居ルノデ
アリマス、之ヲ設ケタコトノ可否ニ付キマ
シテハ、私ハ此處デ何モ申上ゲル權限ヲ有
タナイノデアリマスガ、幸ニ支那トノ關係
ニ於テモ、サウ云フモノガ永久的ニアルト
云フコトハ、日支兩國ノ關係カラ見マス
至極適當ノ制度デアルト、私ハ現在思ッテ
居ルノデアリマス、ソレデ成ベクソレニ手
ヲ著ケヌト云フコトガ本則デアアルノデアリ
マスガ、幸ニ法ノ運用上差支ナイ程度ニ於
テ、餘金ト云フモノガアリマスノデ、一方
國際文化事業ト云フモノモ、ドウシテモ早

ク是ハ實行スベキモノデアルト思ヒマシタ
ノデ、幸ニサウ云フ財源ノアルノヲ利用シ
テ、來年度カラ、昨年以上ノ文化事業ニ著
手致シタイト思ッテ、サウ云フ制度ヲ採ルコ
トニ相成ツタノデアリマス、是ガ一番理想
的ノ方法デアアルカト云フコトニナリマス
ト、私モソレハ他ニ途ガアレバ、無論他ノ
途ヲ執ルベキモノデアッタラウト思フノデ
アリマス

○大山委員 モウソレ以上同ジコトヲ繰返
シテモ問答ハ同ジニナルヂヤナイカト思ヒ
マスカラ、其點ハマア其程度ニ致シテ置キ
マス、然ラバ我國カラ露西亞ニ對シテ對露
債權ヲ有デ居リマス、露西亞ト日本トノ文
化ノ交通ト云フコトモ考ヘラレナイコトデ
ハナイ、是ハ今度ノ國際文化事業ノ外ニ、
先以テ對露債權ノ若シ話合ガ付ケバ、御互
ノ利益ノ爲ニ之ヲ使ハウヂヤナイカト言ッ
テ、アソコヘ特別會計ヲ設定ナサツテ、日
「ソ」ノ文化流通ニ御使ニナル意思ハナイ
カ

○廣田國務大臣 對露債權ト申シマス問題
ハ實ハ非常ナ大キナ問題デアリマシテ、是
ハ露西亞ノ從來ノ態度カラ申シマス、債
務ヲ帶ビテ居ル國ニ對シテハ一樣ニ問題ヲ
解決スル、或ハ未解決ノ儘殘スト云フヤウナ
態度ヲ執ッテ居ルヤウデアアルノデアリマス、
日本ト「ソ」ウ「エ」ト露西亞トノ條約ニ依リ
マシテモ、他ノ國ト此問題ノ解決ガ出來ル
場合ニハ、日本ハソレニ不利益ナラザル條
件ニ於テ之ヲ解決スルト云フコトニ相成ツ
テ居ルノデアリマスノデ、其問題ヲ何レノ
國トノ間ニ先ヅ進行スルカト云フコトハ、
餘程注意シテ見テ居ルノデアリマス、最近
亞米利加トノ關係ニ於テ何等カ其問題ニ解
決ノ曙光ガ現レツ、アッタノデアリマスル
ガ、是モ其儘ニ行惱ンデシマッタヤウナ事
態デアリマス、隨ヒマシテ、此際ニ日本ガ
其債權問題ヲ基礎トシテ、日「ソ」ノ間ニ文
化事業ノ資金デモ作ルト云フヤウナコトニ
相成ルニ致シマシテモ、露西亞ノ今日ノ立
場トシテハ、舊債務ノ爲ニ金ヲ支出スルト
云フコトハ、殆ド今日出來難イ狀態デハナ
イカト思ヒマスノデ、理論上ハ、或ハサウ
云フコトモ考ヘ得ルコトデアリマスガ、
實際ニ於テ之ヲ實現スルコトハ、私ハ不可
能デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○大山委員 是ハ私モサウ想像シテ居リマ
ス、サウ想像シテ居リマスガ、唯サウ相手國
ニ依ッテ文化事業ト云フモノヲオヤリニナ
ルニ從ッテ、資金ガ相當要ルガ、其場合幾ツ
デモ御拵ヘニナル積リデアアルノカドウカ、

國際文化事業ト云フモノハ支那モ滿洲モ矢
張同ジコトヂヤナカラウカ、海外諸國ヲ一
纏メニシタ文化事業ト云フモノヲ茲ニ御立
テニナルノニ、態々支那ト滿洲ヲ除外シタ
ル取扱ヲ爲サルト云フコトハ、見様ニ依ッテ
ハ是ハ優待デアアルケレドモ、見様ニ依ッテ
ハ是ハ全ク別個ニ置カレタル、侮辱サレ
タコトニ取ルカモ知レヌ、相手方ノ如何ニ
依ルコトデアアル、其都度年々豫算ニ決算ニ
議論ヲ生ズルヤウナコトヲ爲サヌデ、此際
一遍ニ對支文化事業特別會計法ト云フモノ
ヲ——名前ヲ御改メニナッテ範圍ヲ擴張ナ
サレバ、ソレデ事ガ足リルノヂヤナカラウ
カ、十分ニヤレルノヂヤナカラウカ、斯ウ
私ハ申上ゲルノデアリマス、サウ云フ耳ヲ
掩ウテ鈴ヲ盜ム式ノヤリ方ヲセズトモ、正
堂堂トヤレルノデハナカラウカ、是ガド
ウシテ出來ナイデアリマセウカ、アナタハ
好ムトカ好マヌト仰シヤルガ、好ム好マヌ
ニ拘ラズ、斯ウ云フコトハ結構ナコトヂヤ
ナカラウカト、斯ウ私ハ考ヘテ御尋スルノ
デス、モウ一應ドウシテモ對支文化事業ト
云フモノハ切離シテヤラナケレバナラヌト
云フ、得心ノ行ク理由ヲ一ツ御聽カセヲ願
ヒタイト思ヒマス

○廣田國務大臣 對支文化事業ヲ特別會計

トシテ制定サレタ事情ハ、私詳シク存ジマセヌガ、大體ニ於テ適當ナル制度デアルト思フノデアリマス、支那トノ關係ニ於テ特殊ノ資金ガ現ニアリマスノデ、其制度ハ成ベク長ク維持スルコトガ適當デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○大山委員 サウハッキリト明言ナスツタ以上ハ、私モソレデ諒解致シマシタ、致シマシタガ、殘ル問題ハ然ラバ百萬圓バカリノ金ヲ、サウ日本ノ特別會計法ノ原則ヲ案シテマデモ御使ニナラヌデモ、是ハ一般會計カラ別ニ支出ノ途ヲ御求メニナツテモ宜イデヤナカラウカ、ソレ程獨立性ヲ認メナケレバナラス、尊重シナケレバナラス、ソレ程重大ナ、又妙ナ關係ニ立ツ金デアルト云フナラバ、何ガ爲ニソレヲ繰替使用ナドト云ツテ、勝手ニ右ノ缺カラ左ノ缺ニ之ヲ移スヤウナコトヲ爲サルノデアラウカ、一般國費デ之ヲ返スト云フ目當ガアルナラバ、外務省ノ一般經費ノ中デ御取リニナツテ、其財源ヲ大藏省ヘ要求ナスツタ宜イデヤアリマセヌカ、對支文化事業ヲソレ程重シジナケレバナラヌモノデアアル、對支文化事業創設ノ趣旨精神ニ鑑ミテ、是ハ手ヲ著ケナイ、之ヲ維持シタイ、斯ウ仰シヤルノデアアルナラバ、百萬圓バカリノ金ヲ其所カラ御取リ

ニナル趣旨ガ分ラヌ、ソレヲモウ一應承リタイ

○廣田國務大臣 無論國際文化事業ノ如キ費用ハ一般會計カラ支出スベキデアルト私ハ思フノデアリマス、若シ其方法ガアレバ、特ニ斯ウ云フ問題ノ種ニナルヤウナ財源ヲ強ヒテ求ムルト云フ考ハ毛頭持タナイノデアリマス、併シ現狀ト致シマシテハ、其外ニ途ガナイト云フコトカラ、已ムヲ得ズ此手段ヲ執ルコトニナツタ次第デアリマス

○岡田委員長 大山君、アナタノ御質問ハ長イヤウデアリマスガ、一應今日ハ之デ止メタラドウデスカ

○大山委員 マダ私腑ニ落チヌ事ガ澤山アリマスカラ……

○岡田委員長 ソレデハ明日デモ許シマス——今日ハ此程度デ止メマスガ、一寸政府委員ニ、今ノ材料ノコトニ付テ申上ゲテ置キマスガ、先程ノ石渡政府委員ノ御返事デハ、内務省關係ノ御返事ガナイヤウデス、詰リ災害豫算ニ關シ、道府縣及市町村起債額ノ事ガ御返事ガナイヤウデアリマス、ソレカラ第六十六議會豫算編成當時ノ災害ニ關スル基礎材料、其後ノ調査ニ基ク最近ノ諸材料、是等ガナイヤウデスガ、其他二三アリマス、之ヲ明日ドナタカラガ一括シテ

御返事ヲ願ヒタイ——今日ハ是デ散會、明日ハ午後一時ヨリ開會致シマス
午後四時四十一分散會